

Testabliish 簡単マニュアル

目次

- [Testabliish とは](#)
- [1. Testabliish サーバを構築する](#)
- [2. Testabliish にログインする](#)
- [3. Testabliish プロジェクトを設定する（管理者作業）](#)
 - [3.1. プロジェクトを作成する](#)
 - [3.2. Testabliish ユーザを設定する](#)
- [4. Testabliish で操作を収集する](#)
- [5. Testabliish でテストを作成する](#)
 - [5.1. フローの設定をする](#)
 - [5.2. ページの設定をする](#)
 - [5.2.1. ページの基本情報を設定する](#)
 - [5.2.2. 操作の定義を設定する](#)
 - [5.2.3. アサーションの定義を設定する](#)
 - [5.2.4. テストを作成する](#)
 - [5.3. テストの設定をする](#)
 - [5.3.1. テストを編集する](#)
 - [5.3.2. テストパターンをダウンロード・アップロードする](#)
 - [5.3.3. テストコードを出力する](#)
 - [5.3.4. テスト仕様書を作成する](#)
- [6. テストを自動実行する](#)
 - [6.1 Selenium をインストールする](#)
 - [6.2 Internet Explorer の設定を確認する](#)
 - [6.3 Windows10 の設定をする](#)
 - [6.4 Java をインストールする](#)
 - [6.5 Gradle の設定をする](#)
 - [6.6 テストコードを実行する](#)

Testabliishとは

Testabliish は、Webアプリケーションのテスト自動化を支援するツールです。

- Webアプリケーションのテストシナリオ作成を支援します。
テストシナリオ作成のもととなる情報を収集し、実施した操作結果からテストシナリオひな型を生成することができます。
収集した情報を参照しながら、アサーションをGUIで設定することが可能です。

- Webアプリケーションでの実際の操作内容を収集し蓄積します。
収集した情報をもとに、テスト用に設定や編集を行い、テストコード、テスト仕様書を出力することができます。
Testabliish ブラウザ拡張で収集し蓄積した操作を繰返し実施することができます。
- テストコードを自動実行できます。
作成したテストシナリオからテストコードを生成します。テストコードはSeleniumにより自動実行が行えます。
- テスト仕様書を生成します。
作成したテストシナリオからテスト仕様書を自動生成します。

Testabliish の概要図を以下に示します。

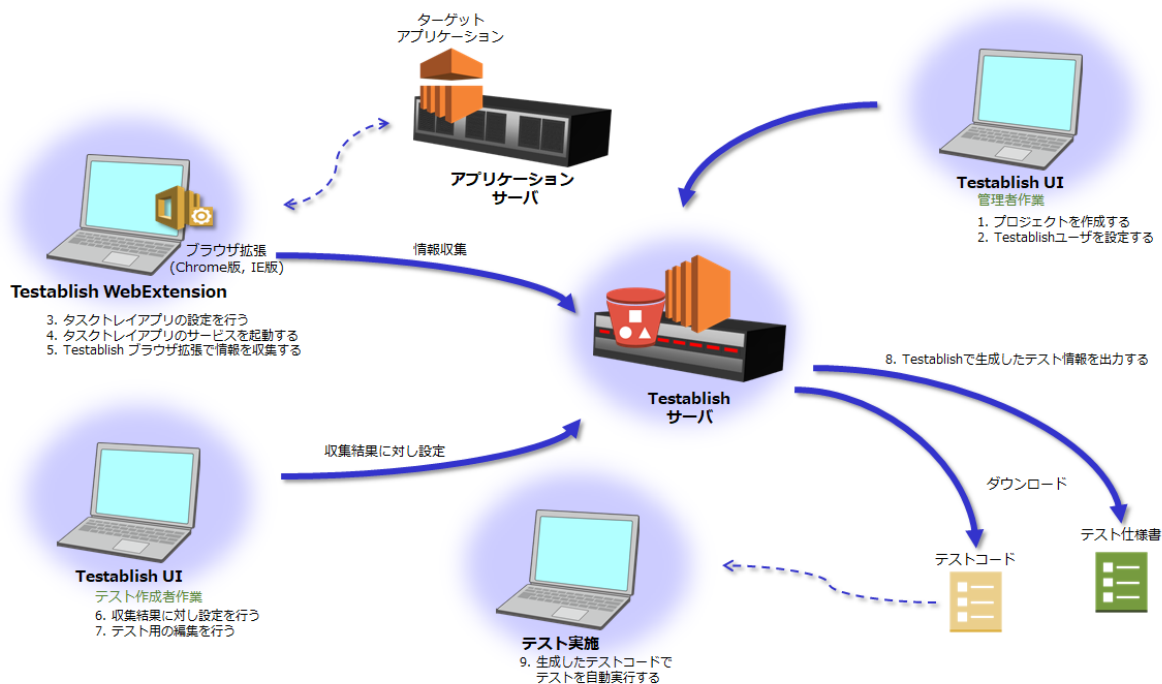


Fig. Testabliish概要

- Testabliish UI 管理者作業
ユーザが Testabliish を使用するための設定を行います。
- Testabliish WebExtension
操作した内容の情報収集を行います。
- Testabliish UI テスト作成者作業
テスト仕様書、テストコードを作成できるよう、GUIでテストシナリオを設定編集します。
- 自動生成
作成したテストシナリオから、テスト仕様書、テストコードを自動生成します。
- テスト実施
自動生成したテスト仕様書、テストコードを使用し、テストを実施します。

1. Testabliish サーバを構築する

Testabliish のサーバ環境は docker を使用しています。
サーバ構築用の環境として、以下のOSを想定しています。

- Linux(推奨)
- Windows 10
- OS X

別マニュアル：**インストールマニュアル** » **I. Testabliish サーバ環境構築手順(管理者作業)**
を参照してサーバの構築を行ってください。

[目次](#) に戻る

2. Testabliish にログインする

Testabliish サーバにアクセスしてください。ログイン画面が表示されます。

Testabliish サーバ構築直後は、**Setup Wizard** で作成した **管理者ユーザのみ** がTestabliishに登録されています。

⇒ 初回は **管理者ユーザ** でログインしてください。

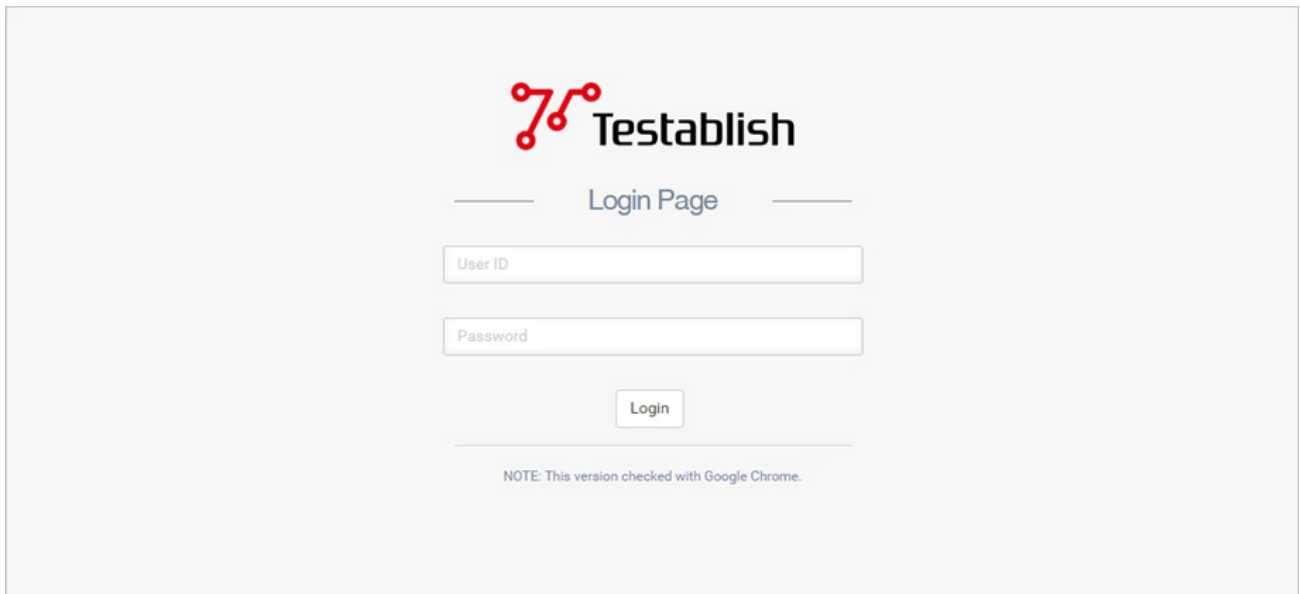
The image shows the Testabliish login page. At the top center is the Testabliish logo, which consists of a red stylized icon followed by the word "Testabliish" in black. Below the logo is the text "Login Page" in blue. Underneath are two input fields: "User ID" and "Password". Below these fields is a "Login" button. At the bottom, there is a small note: "NOTE: This version checked with Google Chrome."

Fig. 2-1 ログイン画面

ログインすると、**プロジェクト一覧** 画面が表示されます。

プロジェクト一覧 画面は Testabliish でホーム画面として扱う画面です。

⇒ 初回ログイン時はプロジェクトが登録されていないので、プロジェクトは表示されません。

右上にログインしているユーザ名が表示されます。

The image shows the Testabliish project list page. At the top left is the Testabliish logo. At the top right, there is a user profile icon and the text "Administrator". Below the header, the page title is "プロジェクト一覧". To the right of the title is a green "追加" (Add) button. Below the title is a message: "作業するプロジェクトを一覧から選択してください。" (Please select a project to work on from the list below). Below the message is a table with three columns: "プロジェクト名/プロジェクトID", "ページ数", and "テストシナリオ数". The table is currently empty.

Fig. 2-2 プロジェクト一覧画面

[目次](#) に戻る

3. Testabliish プロジェクトを設定する（管理者作業）

操作の収集、テストの作成を行うプロジェクトを設定します。

3.1 プロジェクトを作成する

テストをする対象となるアプリを **プロジェクト** として追加します。

管理者権限を持つユーザの場合、プロジェクト一覧画面右上部に **追加** ボタンが表示されます。

⇒ **追加** ボタンをクリックしてください。



Fig. 3.1-1 プロジェクト追加

プロジェクト設定 ダイアログが表示されます。

⇒ プロジェクトの **ID** と **名前** を入力し、**追加** ボタンをクリックしてください。

プロジェクト は、Testabliishでの操作の収集、テストコードの出力、ドキュメントの作成などを行う大枠になります。

プロジェクトのIDは重複して作成できません。

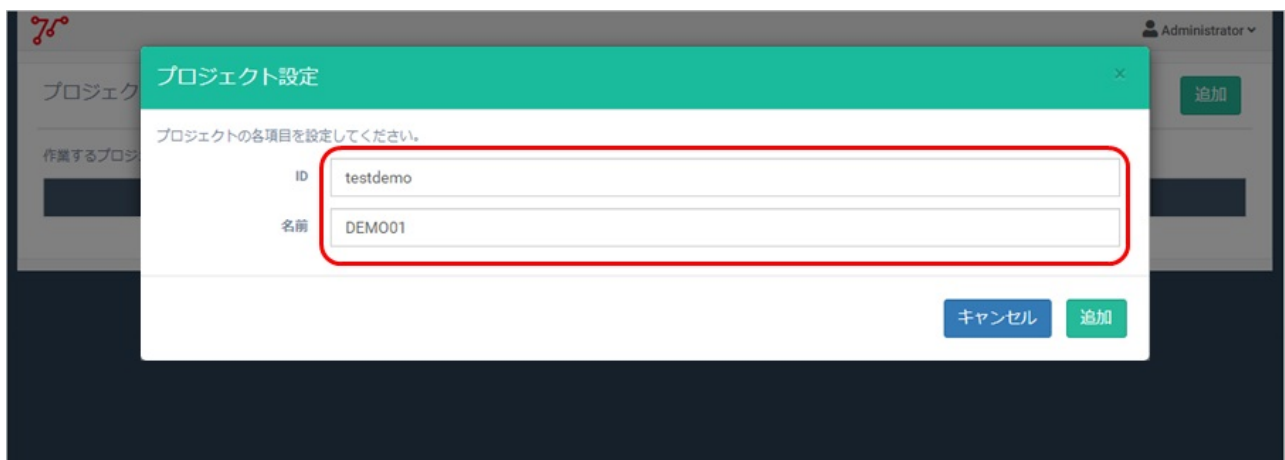


Fig. 3.1-2 プロジェクト設定ダイアログ

新規プロジェクトが作成され、プロジェクト一覧に追加されます。

数十秒～数分程度、時間がかかる場合があります。プロジェクトが一覧に表示されるまでお待ちください。

⇒ 表示されたプロジェクトをクリックしてください。

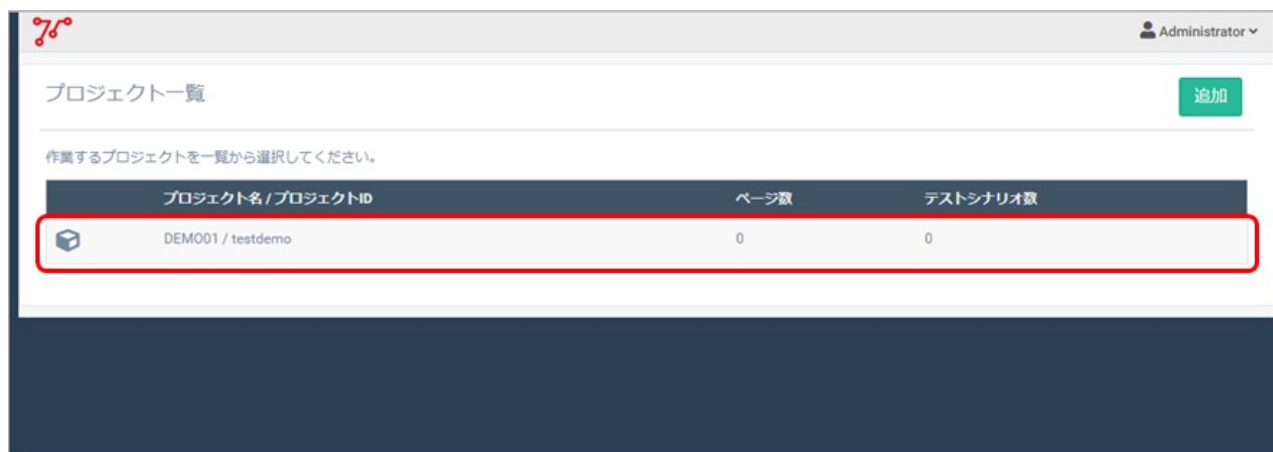


Fig. 3.1-3 プロジェクト選択

プロジェクト個別の設定画面に移動します。

選択中のプロジェクト名が画面左上（Testablishマークの右側）に表示されています。

⇒ メインメニューから **設定** をクリックしてください。



Fig. 3.1-4 プロジェクト個別画面

プロジェクト設定 画面が表示されます。

プロジェクト設定 は、アプリのURLを設定し、使用するユーザを割り当てる画面です。

プロジェクトとみなすURLs に収集対象のアプリのURLを一つ以上設定してください。

⇒ ブラウザで開くことのできるアドレスを入力してください。

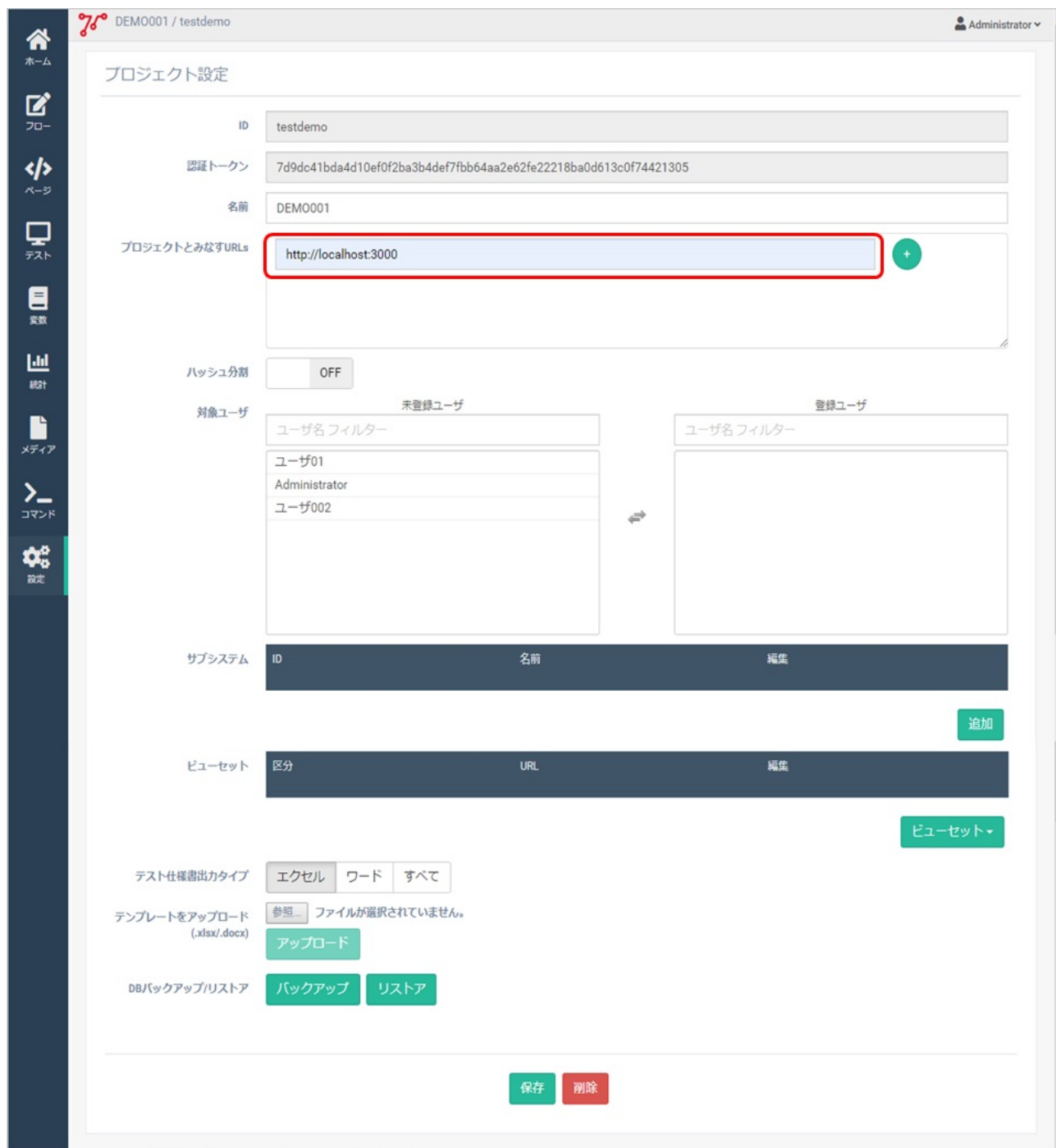


Fig. 3.1-5 URL設定

このプロジェクトで Testabliish を利用するユーザを設定します。

対象ユーザ の左側の **未登録ユーザ** 欄 から、利用を許可するユーザ名をクリックしてください。

プロジェクト作成後の初期状態では、**管理者ユーザ**も利用が許可されていません。

管理者ユーザもこの画面でクリックしてください。

新たなユーザを追加する方法は、[3.2. Testabliish ユーザを設定する](#) をご確認ください。

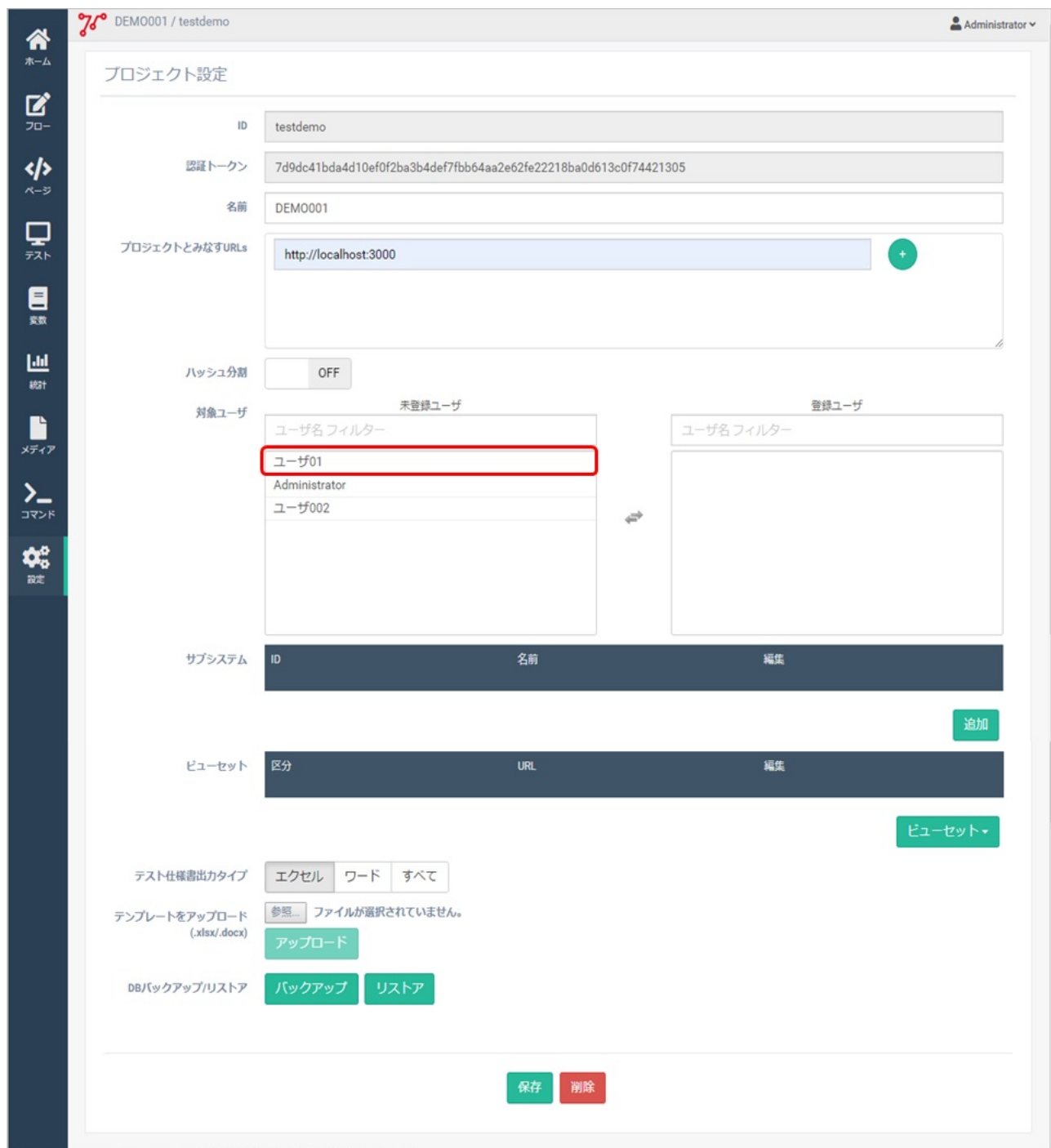


Fig. 3.1-6 未登録ユーザ

クリックしたユーザは、右側の**登録ユーザ** 欄へ移動します。
登録ユーザのみが、このプロジェクトでTestablishを利用できます。

プロジェクトとみなすURLs と **対象ユーザ** を設定したら、**保存** ボタンをクリックしてください。

ホーム

フロー

ページ

テスト

変数

統計

メディア

コマンド

設定

DEMO001 / testdemoAdministrator

プロジェクト設定

IDtestdemo

認証トークン7d9dc41bda4d10ef0f2ba3b4def7fbb64aa2e62fe22218ba0d613c0f74421305

名前DEMO001

プロジェクトとみなすURLs

http://localhost:3000

+

ハッシュ分割OFF

対象ユーザ

未登録ユーザ

登録ユーザ

ユーザ名 フィルター

Administrator

ユーザ002

ユーザ名 フィルター

ユーザ01

サブシステム

ID名前編集

追加

ビューセット

区分URL編集

ビューセット

テスト仕様書出力タイプ

エクセルワードすべて

テンプレートをアップロード

参照...

ファイルが選択されていません。

アップロード

DBバックアップ/リストア

バックアップリストア

保存

削除

Fig. 3.1-7 登録ユーザ

プロジェクトの設定画面の ID、認証トークン、プロジェクトとみなすURLs、ユーザ の情報は、[4. Testabliish で操作を収集する](#) の設定時に必要になります。

DEMO001 / testdemo Administrator

プロジェクト設定

ID

testdemo

認証トークン

7d9dc41bda4d10ef0f2ba3b4def7fbb64aa2e62fe22218ba0d613c0f74421305

名前

DEMO001

プロジェクトとみなすURLs

+

ハッシュ分割

OFF

対象ユーザ

未登録ユーザ

ユーザ名 フィルター

Administrator

ユーザ002

登録ユーザ

ユーザ名 フィルター

ユーザ01

サブシステム

ID	名前	編集
追加		

ビューセット

区分	URL	編集
ビューセット+		

テスト仕様書出力タイプ

エクセル

ワード

すべて

テンプレートをアップロード
(.xlsx/.docx)

参照...

ファイルが選択されていません。

アップロード

DBバックアップ/リストア

バックアップ

リストア

保存

削除

Fig. 3.1-8 WebExtension用情報

3.2 Testablish ユーザを設定する

プロジェクト を利用できる **ユーザ** を新しく追加します。
 ユーザの追加ができるのは、管理者権限のあるユーザのみです。
 ⇒ 管理者権限のあるユーザでログインしてください。

画面右上に表示される **ユーザ名** をクリックしてください。
 プルダウンメニューが表示されます。
 ⇒ **ユーザ設定** を選択してください。

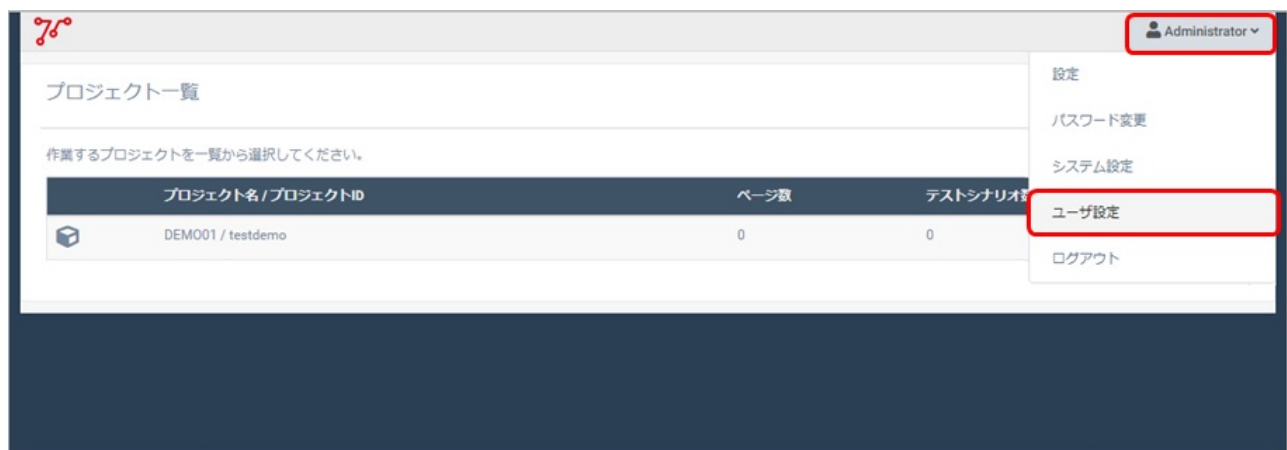


Fig. 3.2-1 設定メニュー

ユーザ設定 画面が表示されます。

ユーザ設定 画面は、ユーザの追加、変更、削除をする画面です。

⇒ 右下の **追加** ボタンをクリックしてください。





Fig. 3.2-2 ユーザー一覧

ユーザ情報の入力欄が表示されます。

⇒ 項目を入力し、**保存** ボタンをクリックしてください。

パスワード には日本語が使用できません。半角英数記号で設定してください。

ユーザ設定

ID	名前	システム管理者	編集
admin	Administrator	✓	 

追加

ID: user1

名前: ユーザ1

パスワード: ..

パスワード(確認): ..

システム管理者: OFF



言語: 日本語

キャンセル 保存

Fig. 3.2-3 ユーザ設定

設定した **ユーザ** がユーザー一覧に表示されたら、設定完了です。

ユーザ設定

ID	名前	システム管理者	編集
user1	ユーザ1		 
admin	Administrator	✓	 

追加

Fig. 3.2-4 ユーザ追加完了

追加した **ユーザ** で Testablish にログインできることを確認してください。



Fig. 3.2-5 追加ユーザ ログイン



Fig. 3.2-6 追加ユーザ ログイン成功

ユーザ設定 画面からは、登録済みのユーザの設定内容の変更または削除も可能です。

一覧表示から変更したいユーザの **編集** アイコン（歯車の形のアイコン）をクリックすると、設定項目が表示されます。

変更後は、**保存** ボタンをクリックしてください。

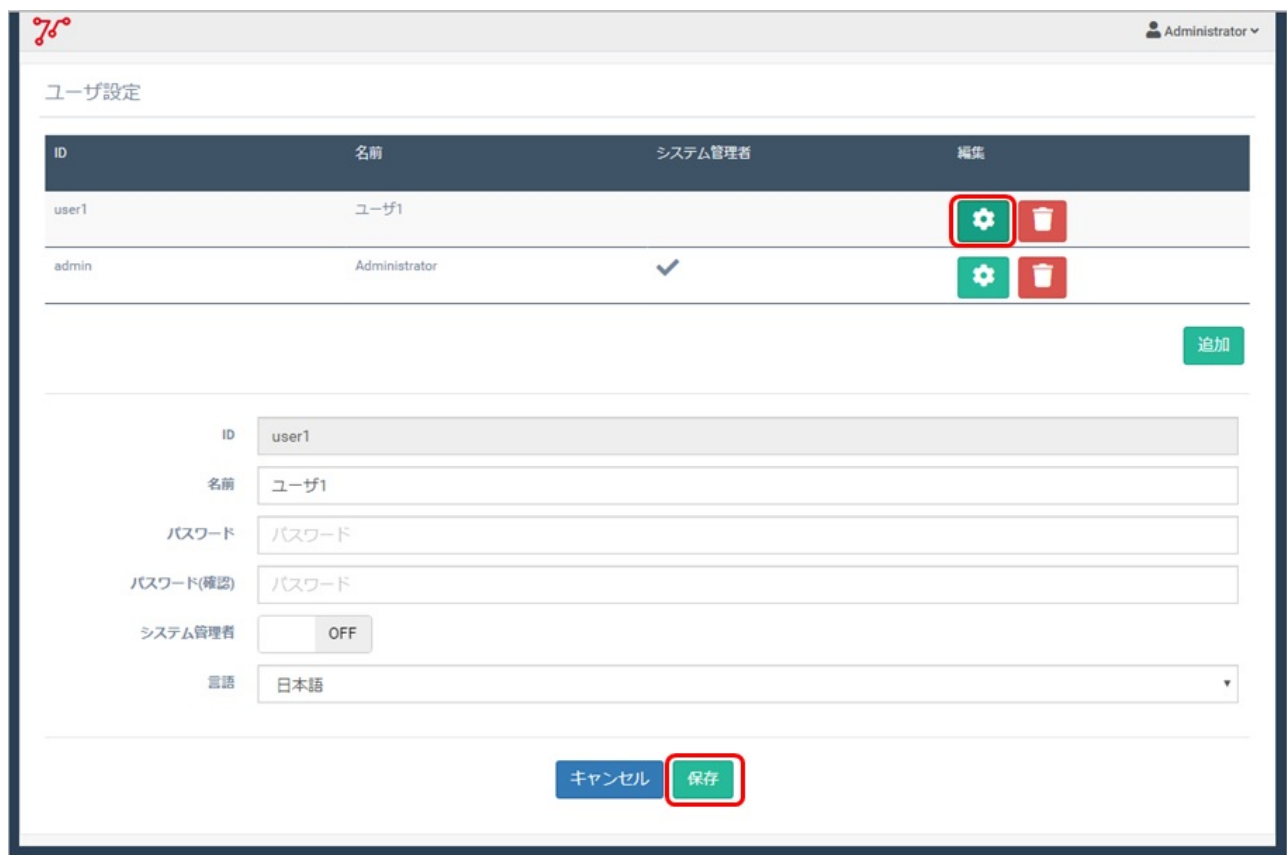


Fig. 3.2-7 ユーザ変更

ユーザを削除する場合は、**削除** アイコン（ごみ箱のアイコン）をクリックしてください。ユーザが削除されましたら紐づいたユーザ情報は削除されます。削除されたユーザ名は **フロー画面** などでは n/a で表示されます。



Fig. 3.2-8 ユーザ削除

管理者権限のないユーザでも、ユーザ自身の名前と表示言語は変更することができます。ユーザ名をクリックして表示されるプルダウンメニューの **設定** から変更してください。

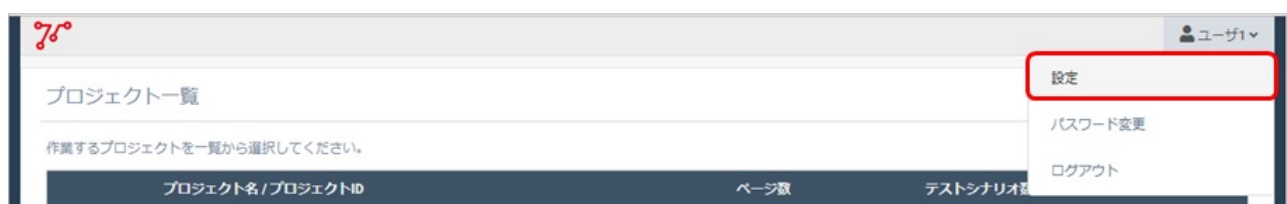
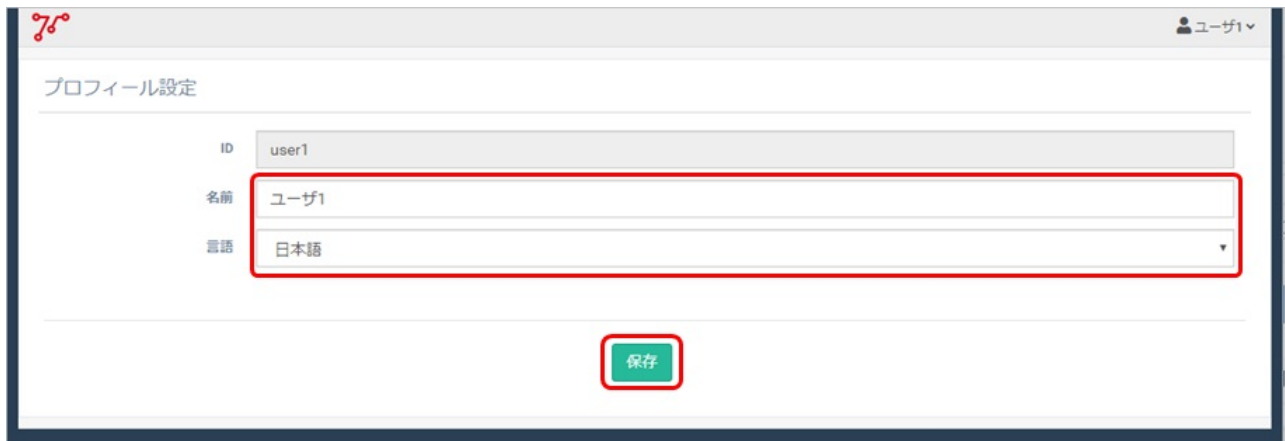


Fig. 3.2-9 一般ユーザメニュー

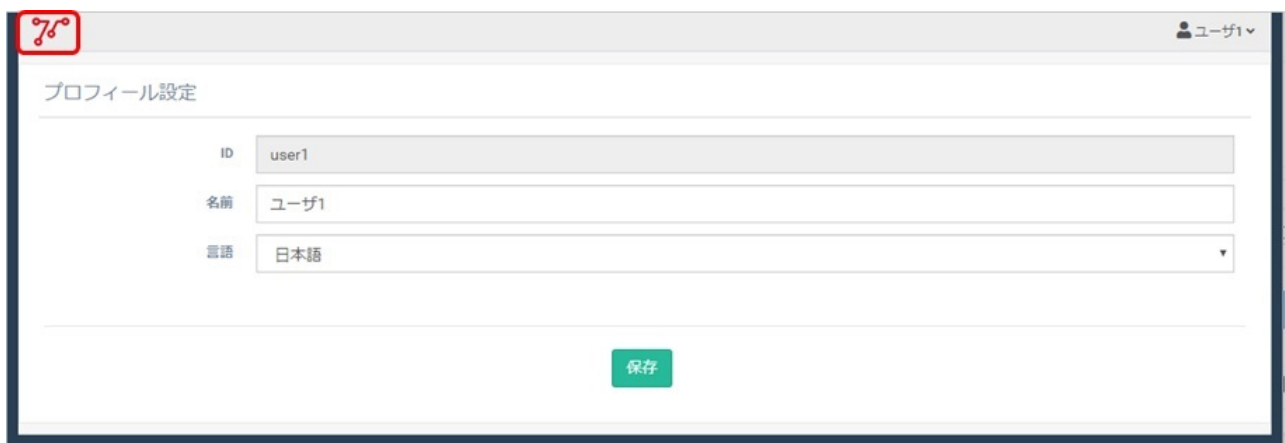
変更後、**保存** ボタンをクリックしてください。
設定した名前は再ログイン後に有効になります。
言語は **保存** ボタンをクリック後すぐに有効になります。



The screenshot shows the 'プロフィール設定' (Profile Settings) page. At the top left is the Testablish logo. At the top right is a user dropdown menu showing 'ユーザ1'. The main content area has the title 'プロフィール設定'. Below it are three input fields: 'ID' with the value 'user1', '名前' (Name) with the value 'ユーザ1', and '言語' (Language) with the value '日本語'. A red rectangular box highlights the '名前' and '言語' fields. At the bottom center is a green button labeled '保存' (Save).

Fig. 3.2-10 一般ユーザ変更

設定画面からプロジェクト一覧画面に戻るには、画面左上の Testablish ロゴをクリックしてください。



The screenshot shows the 'プロフィール設定' (Profile Settings) page. At the top left is the Testablish logo, which is highlighted with a red rectangular box. At the top right is a user dropdown menu showing 'ユーザ1'. The main content area has the title 'プロフィール設定'. Below it are three input fields: 'ID' with the value 'user1', '名前' (Name) with the value 'ユーザ1', and '言語' (Language) with the value '日本語'. At the bottom center is a green button labeled '保存' (Save).

Fig. 3.2-11 プロジェクト一覧画面に戻る

[目次](#) に戻る

4. Testabliish で操作を収集する

Testabliish タスクトレイアプリおよびブラウザの拡張機能 を利用して、ブラウザから実施した画面操作を収集します。

タスクトレイアプリやブラウザの拡張機能の設定については、

別マニュアル：**インストールマニュアル** » II. Extension(拡張機能)の導入 » 1. Windowsでの拡張機能導入

を参照して設定を行ってください。

設定後、データ収集をおこなう方法については、

別マニュアル：**Testabliish 使い方マニュアル** » III. 操作の流れ » 1. ページ情報および操作の収集を参照してください。

[目次](#) に戻る

5. Testabliish でテストを作成する

収集した操作から、テストを作成します。

Testabliishによるテストの作成は、テストシナリオに基づいて実施した操作を記憶する方法と、開発を進めながら操作を追加していく方法の、どちらにでも利用できます。

ここではテストシナリオに基づいて実施手順、操作結果を記憶してテストを作成する手順を説明します。

5.1 フローの設定をする

メインメニューの **フロー** をクリックすると、**フロー/ビューセット編集** 画面が表示されます。

フロー/ビューセット編集 画面はTestabliish タスクトレイアプリ (Extention) で収集した操作を確認する画面です。

フローグラフ には収集した操作の画面遷移図が表示されます。

フローグラフ の画面を表している青丸を右クリックするとメニューが表示され、ここから、「**ページ名設定**」と「**ページ情報**」画面の表示を行うことができます。



Fig. 5.1-1 フロー画面

プロパティ の **セッション一覧** からセッションを選択し、**セッション属性設定** ボタンをクリックしてください。



Fig. 5.1-2 フロー画面 セッション属性設定

セッション属性設定 ダイアログが表示されます。

セッション名 を入力して、**設定** ボタンをクリックしてください。

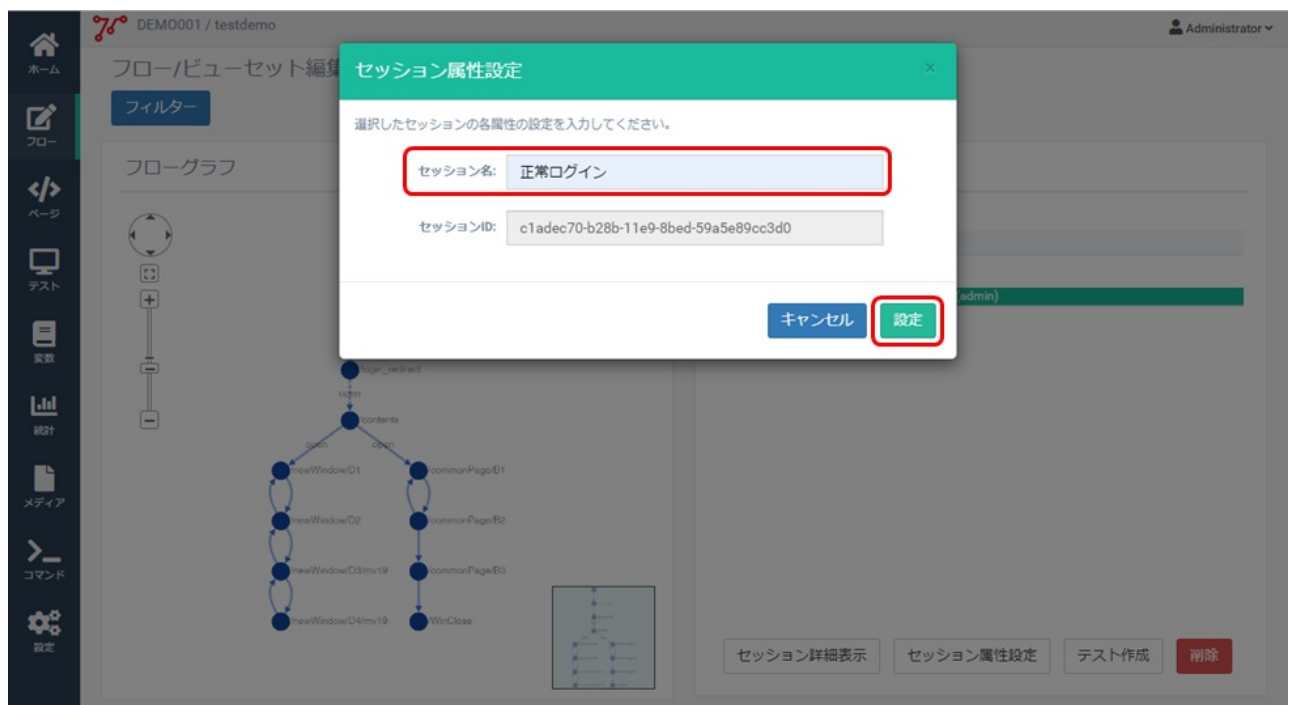


Fig. 5.1-3 フロー画面 セッション属性設定ダイアログ

セッション一覧では、ダイアログで設定されたセッション名が表示されます。



Fig. 5.1-4 フロー画面 セッション

フローグラフの青丸をクリックすると、その画面のキャプチャ画像が表示されます。
この時、**プロパティ**の **画面キャプチャ** タブをクリックすると、フローグラフで選択している画面のキャプチャが表示され、操作が収集できていることが確認できます。

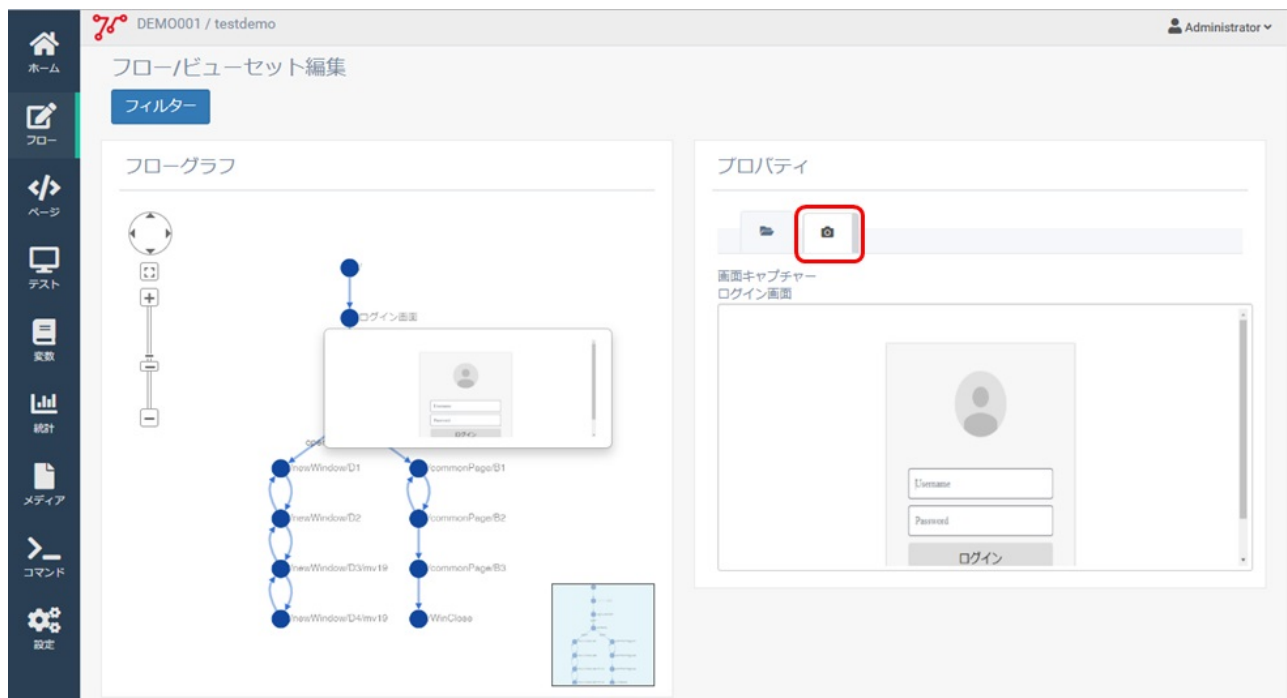


Fig. 5.1-5 フロー画面 キャプチャ

5.2 ページの設定をする

メインメニューの **ページ** をクリックし、**ページ一覧** 画面を表示します。

ページ一覧 画面は収集したページの一覧を表示し、ここからページを選択して、ページごとの情報を設定していきます。

ここで設定したページと、ページに含まれる操作・アサーション情報をテスト作成の際に使用します。

ページの設定を行うには、**ページ一覧** から対象のページ名をクリックします。

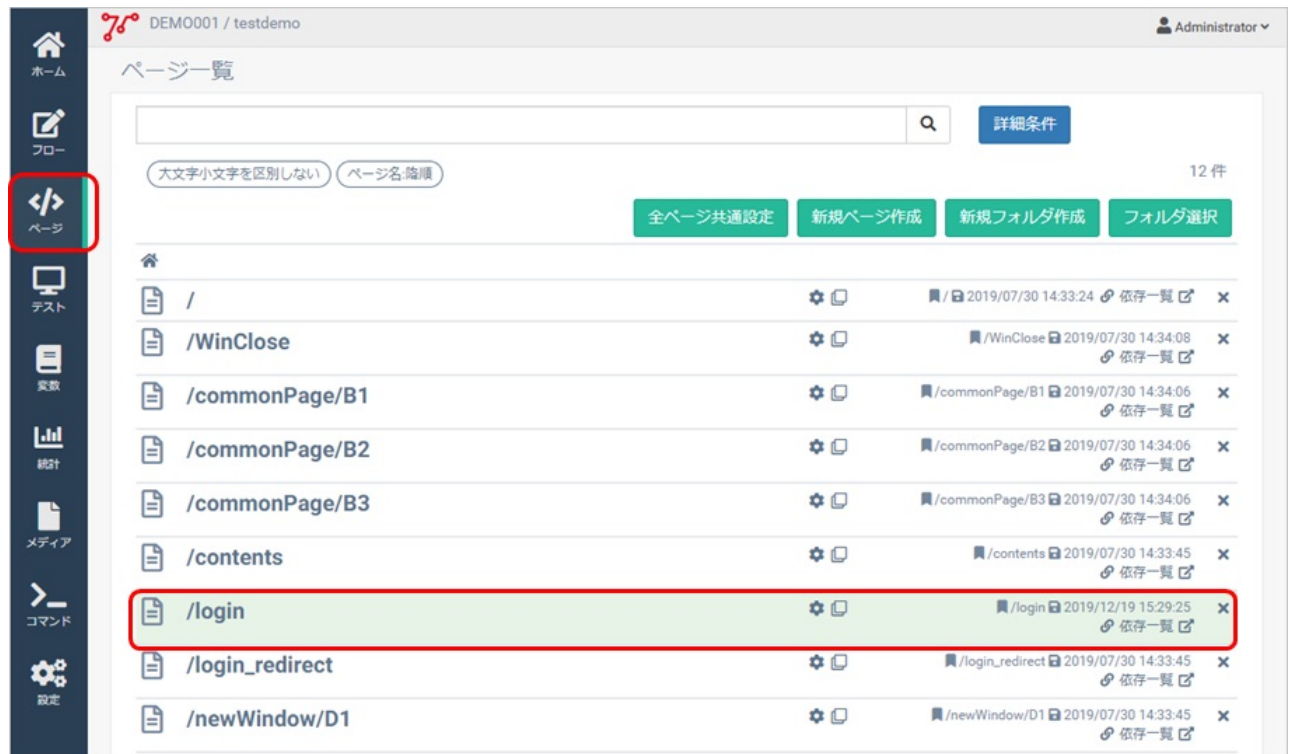


Fig. 5.2-1 ページ一覧画面

ページ情報 画面が表示されます。

ページ情報 画面は、ページの **基本情報**、**操作**、**アサーション**、**Javascript実行機能** の設定をすることができます。

(Javascript実行機能については、別マニュアルの **使い方マニュアル** > II.各画面の説明 > 4.ページメニュー > 4.2.4 スクリプト タブ を参照してください。)

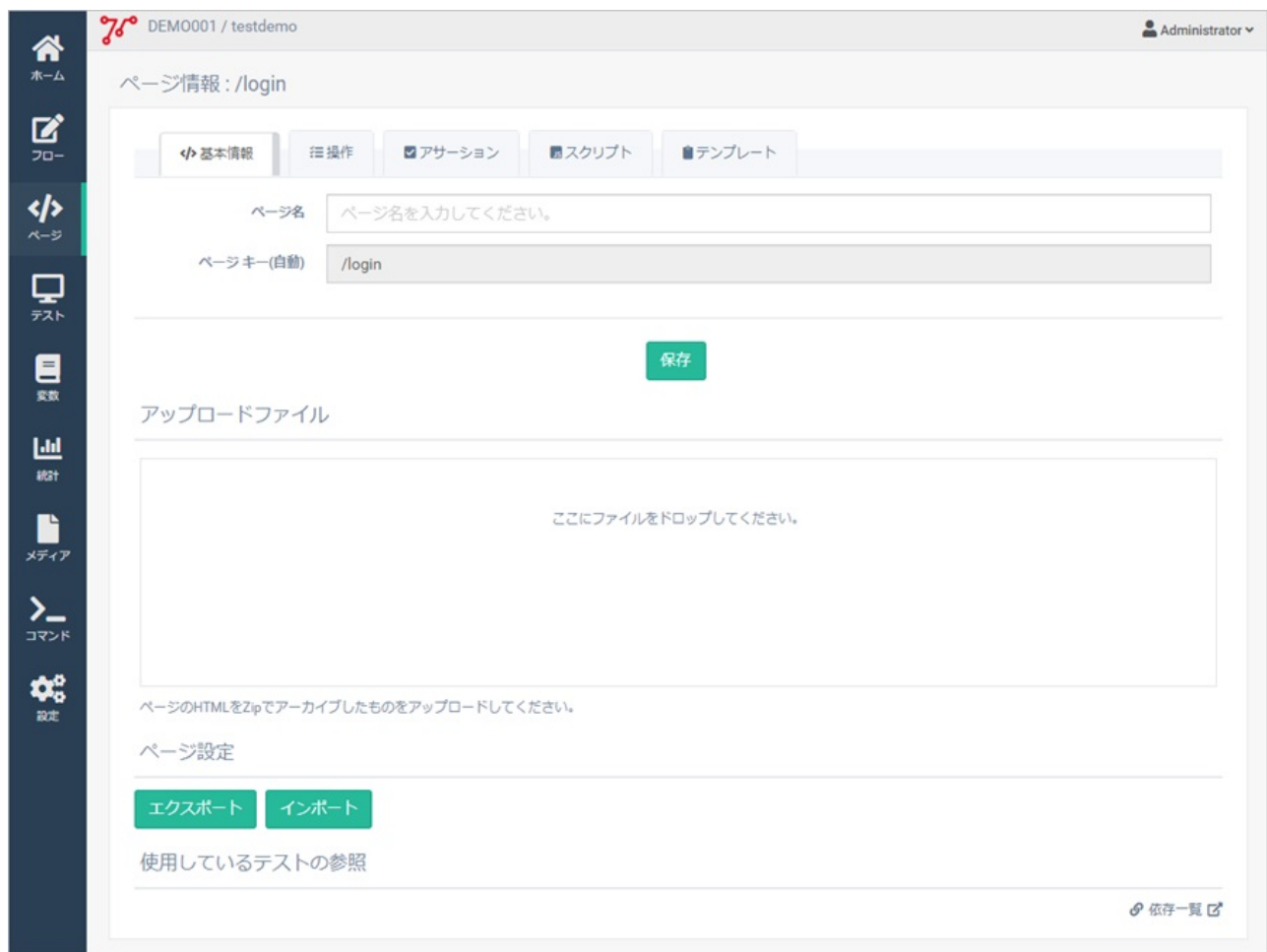


Fig. 5.2-2 ページ情報画面

5.2.1 ページの基本情報を設定する

基本情報 タブをクリックし、ページ基本情報画面を表示します。
このタブではページの基本情報を設定することができます。

ページ名 に名前を入力して、**保存** ボタンをクリックしてください。
ページ名を設定しておくで、ページ一覧やテストを作成・編集する際の視認性が向上します。

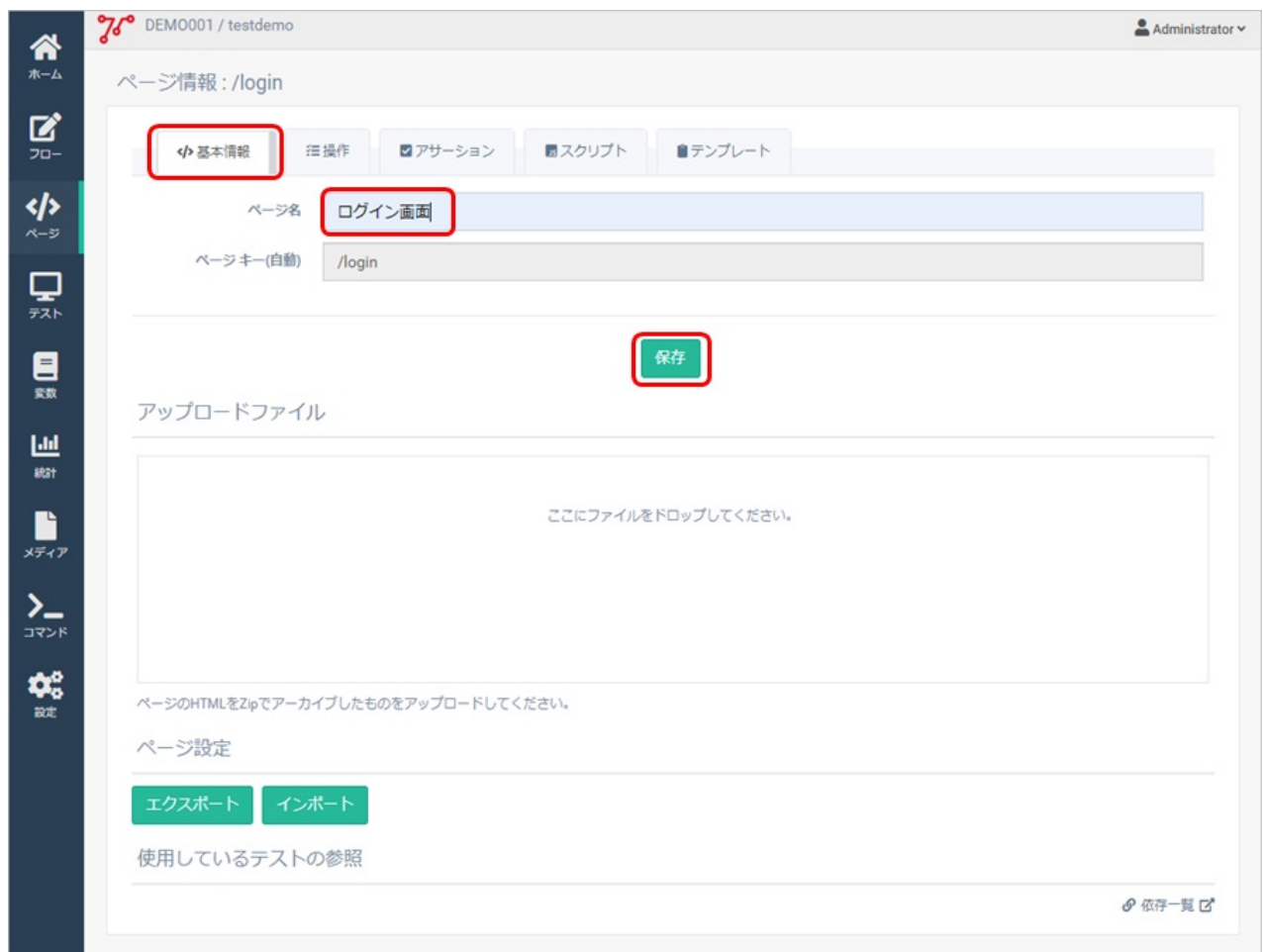


Fig. 5.2.1-1 ページ画面 基本情報

5.2.2 操作の定義を設定する

操作 タブをクリックし、操作一覧画面を表示します。

このタブではページごとの操作を定義・設定することができます。

ページの **操作** とは、入力フィールドやボタン等の何らかの機能を提供する要素のことです。

操作の設定を行うには、**操作一覧** から対象の操作名をクリックします。

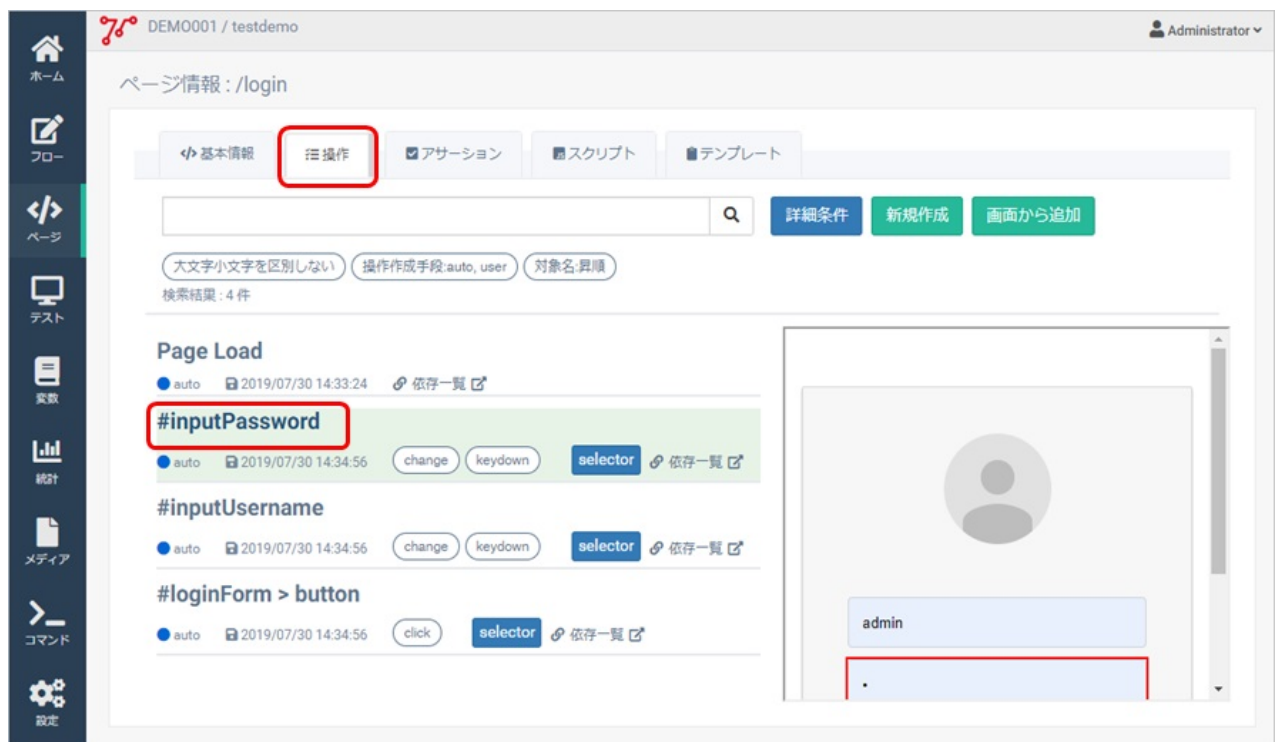


Fig. 5.2.2-1 ページ画面 操作一覧

操作の編集画面が表示されます。

操作を収集した場合、設定項目の一部は自動で設定されています。

対象名 に名前を入力して、**保存** ボタンをクリックしてください。

対象名を設定しておくで、操作一覧やテストを作成・編集する際の視認性が向上します。

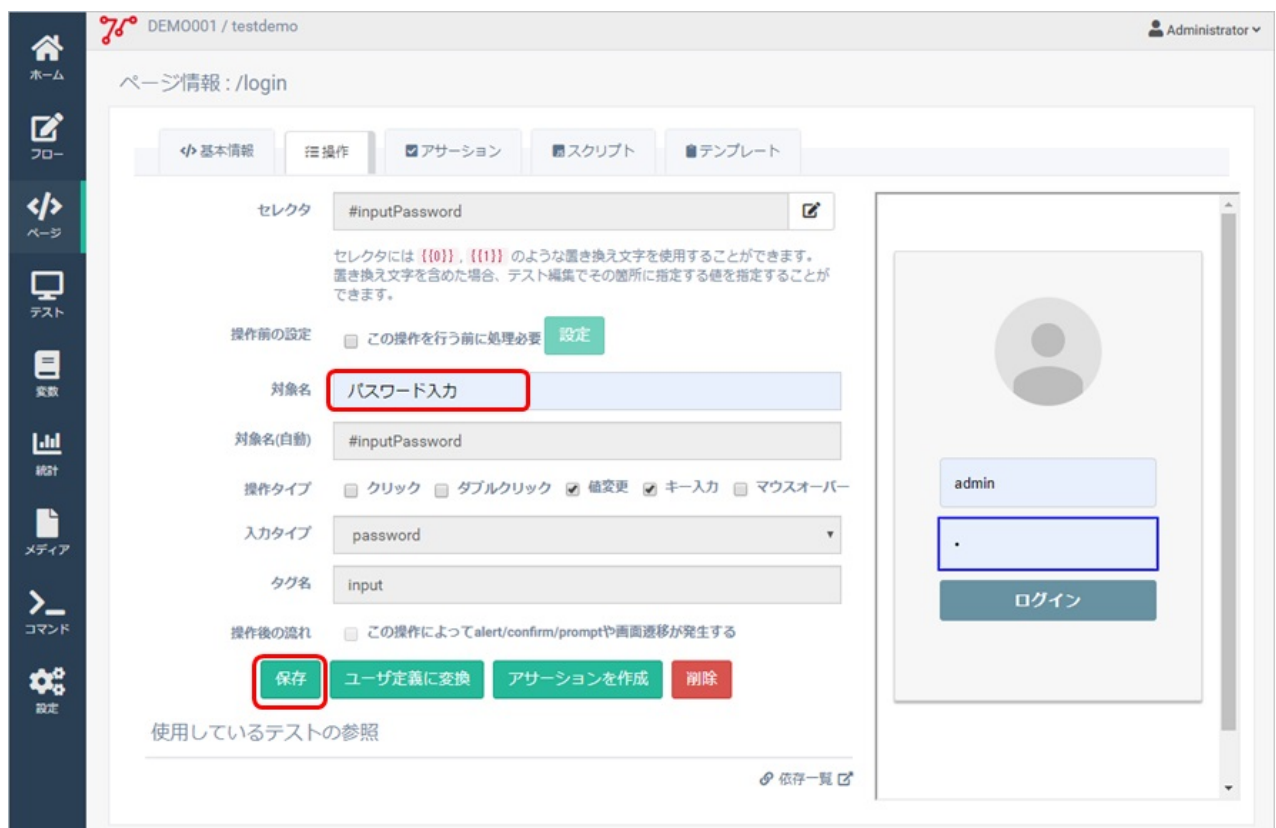


Fig. 5.2.2-2 ページ画面 操作編集

5.2.3 アサーションの定義を設定する

アサーション タブをクリックし、アサーション一覧画面を表示します。
このタブではページごとのアサーションを定義・設定することができます。

アサーションとは、何らかの操作に対して期待する結果への検証のことです。
アサーションがある場合は一覧が表示されますが、最初はアサーションがひとつもない状態です。

アサーションを作成します。
画面から追加 ボタンをクリックしてください。

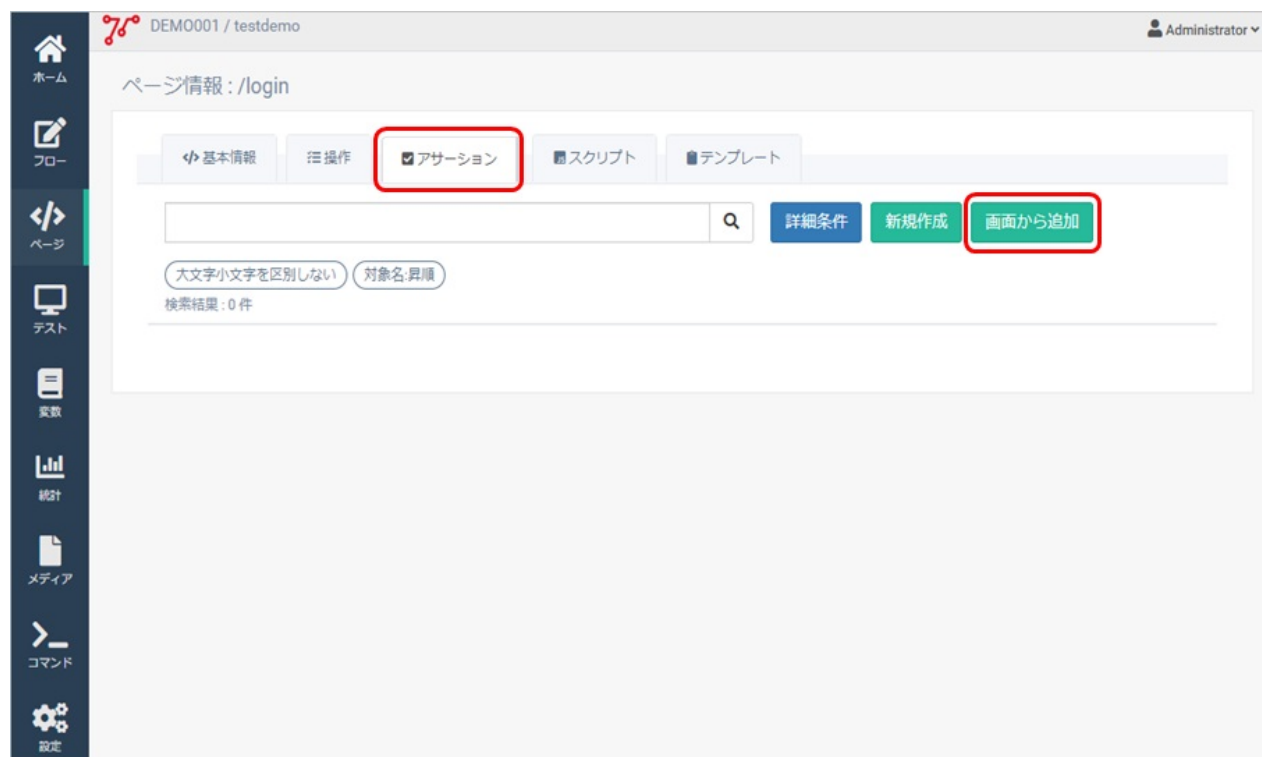


Fig. 5.2.3-1 ページ画面 アサーション一覧

マルチインスペクション画面 が表示されます。
マルチインスペクション画面 は収集した画面情報から要素を選択する画面です。
インスペクション対象を検索／選択 エリアで、対象のセッションを検索します。

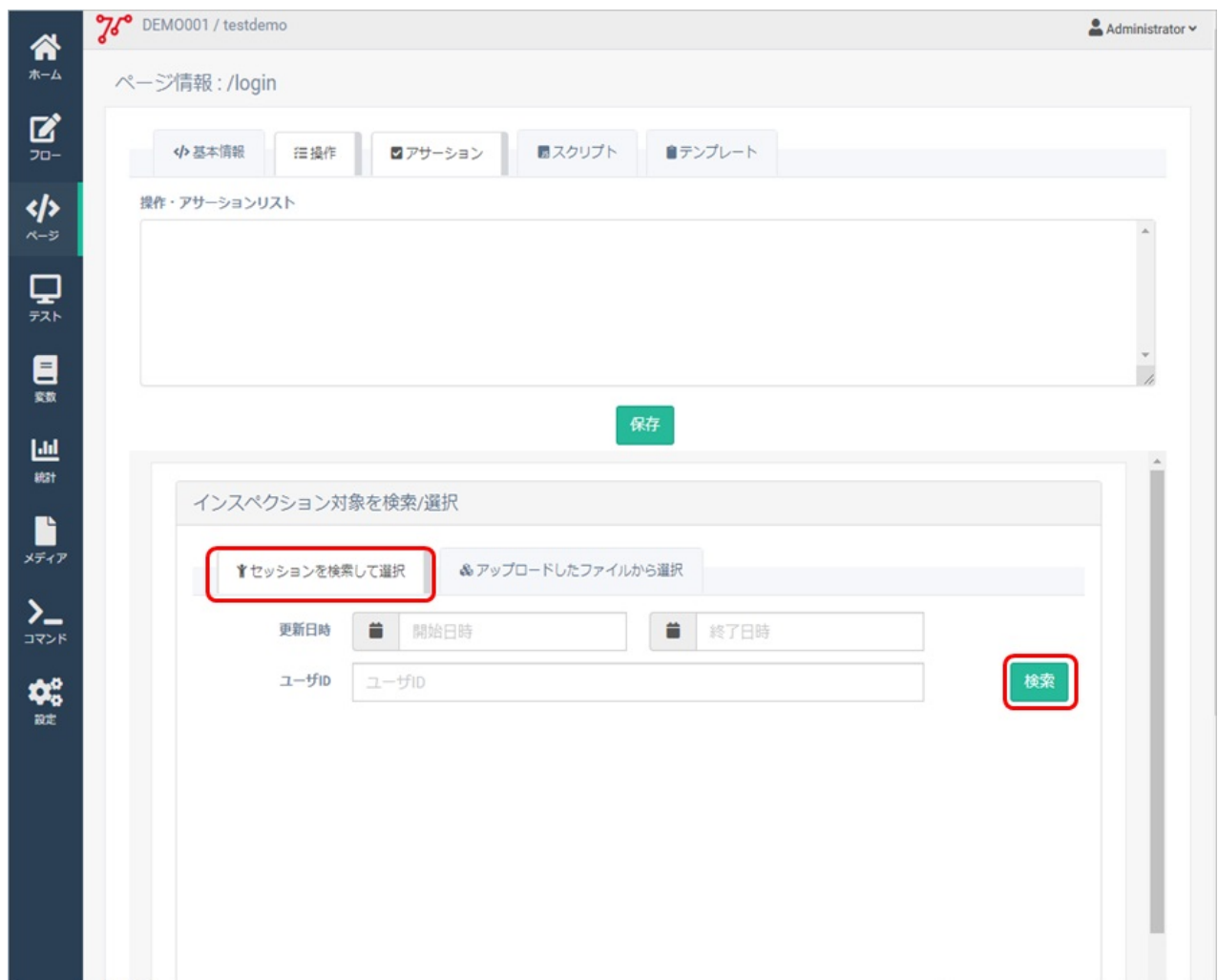


Fig. 5.2.3-2 マルチインスペクション画面 セッション検索

表示されたセッションの一覧から対象のセッションを選び、ファイル名のリンクをクリックします。

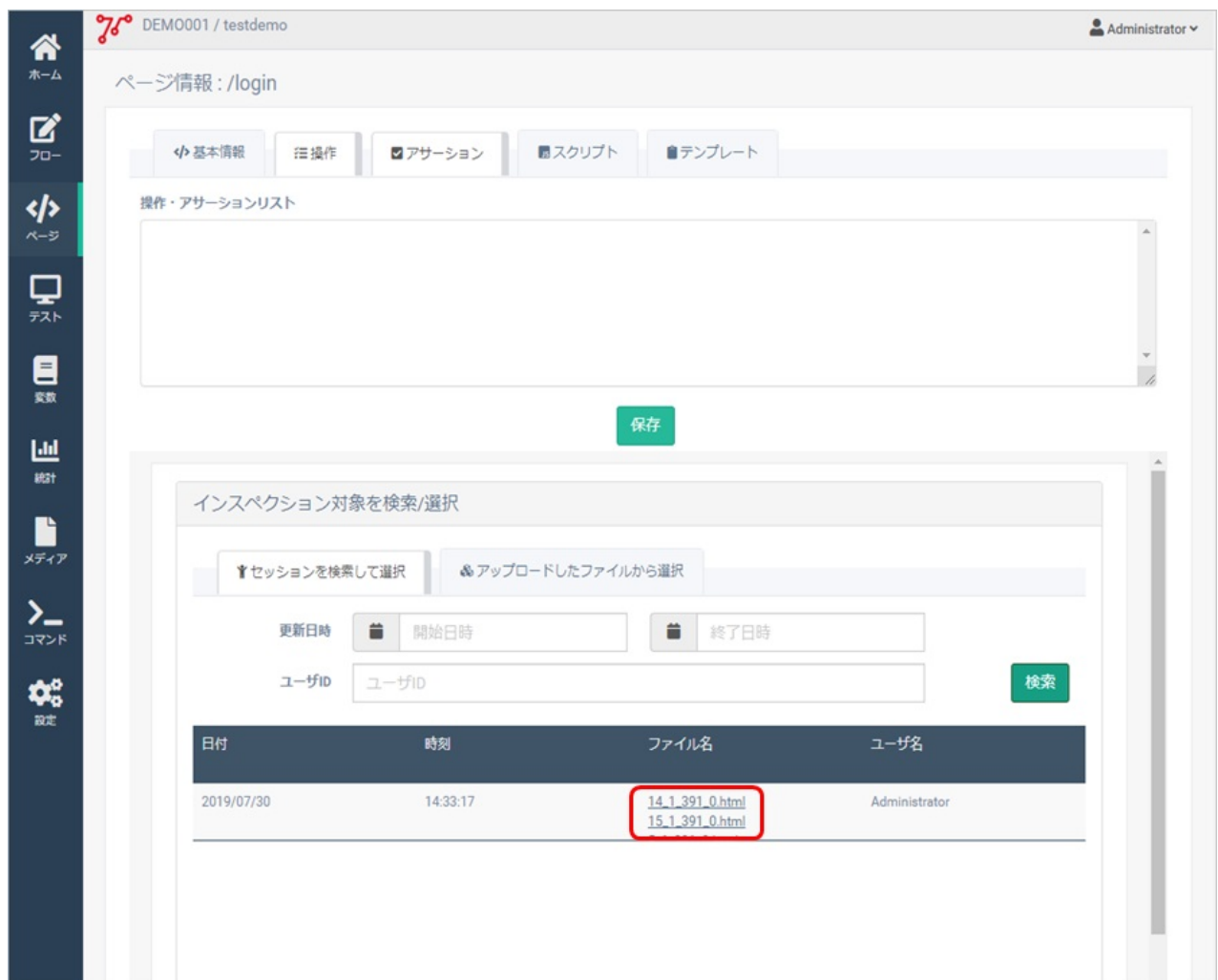


Fig. 5.2.3-3 マルチインスペクション画面 セッション選択

インスペクション画面にページ画面が表示されます。

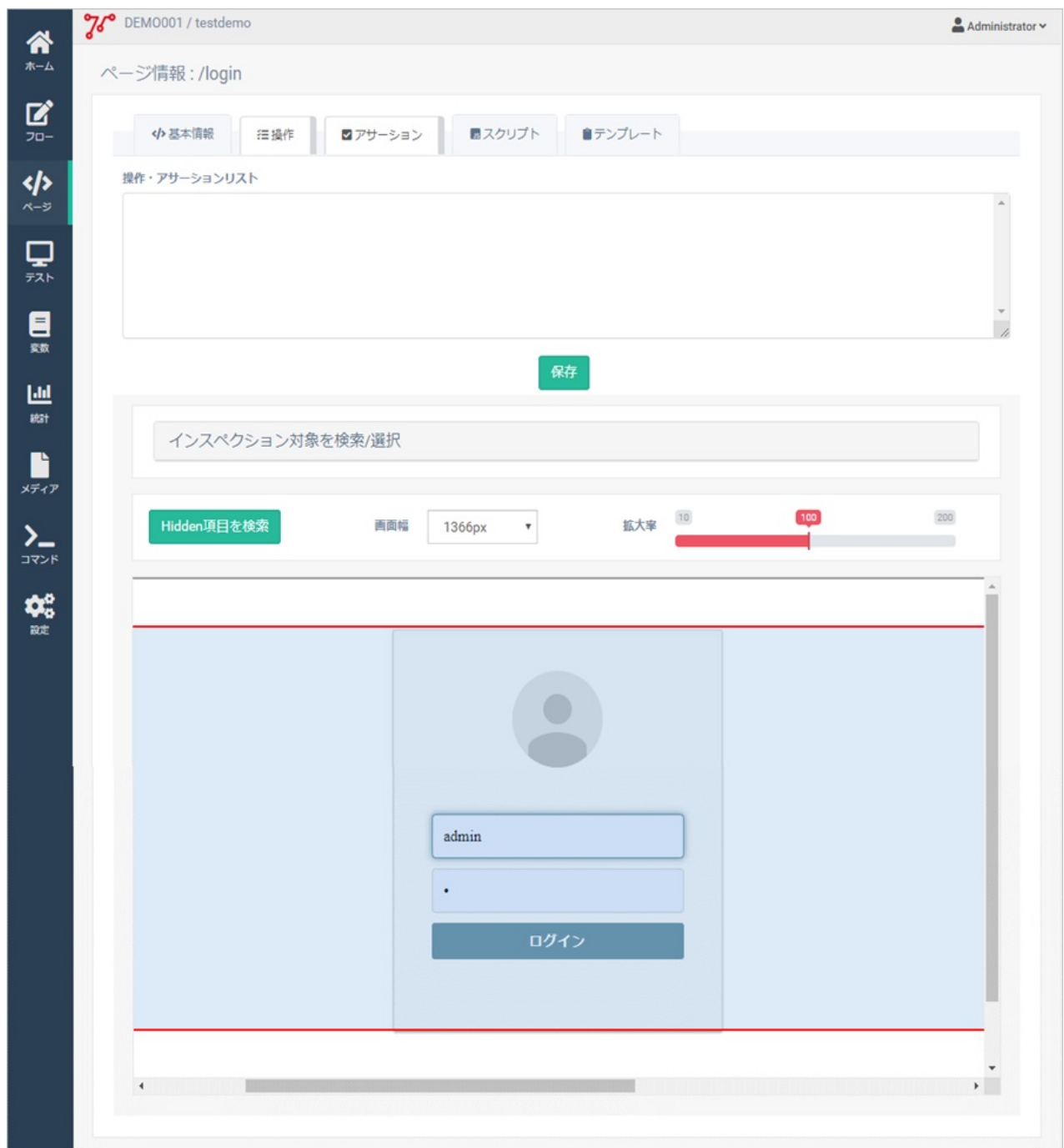


Fig. 5.2.3-4 マルチインスペクション画面 ページ表示

アサーションを作成する対象の操作をインスペクション画面から選択します。
インスペクション画面から、アサーションでチェックする要素をクリックしてください。
操作・アサーションリストの **セレクト** に選択した要素が入力されます。

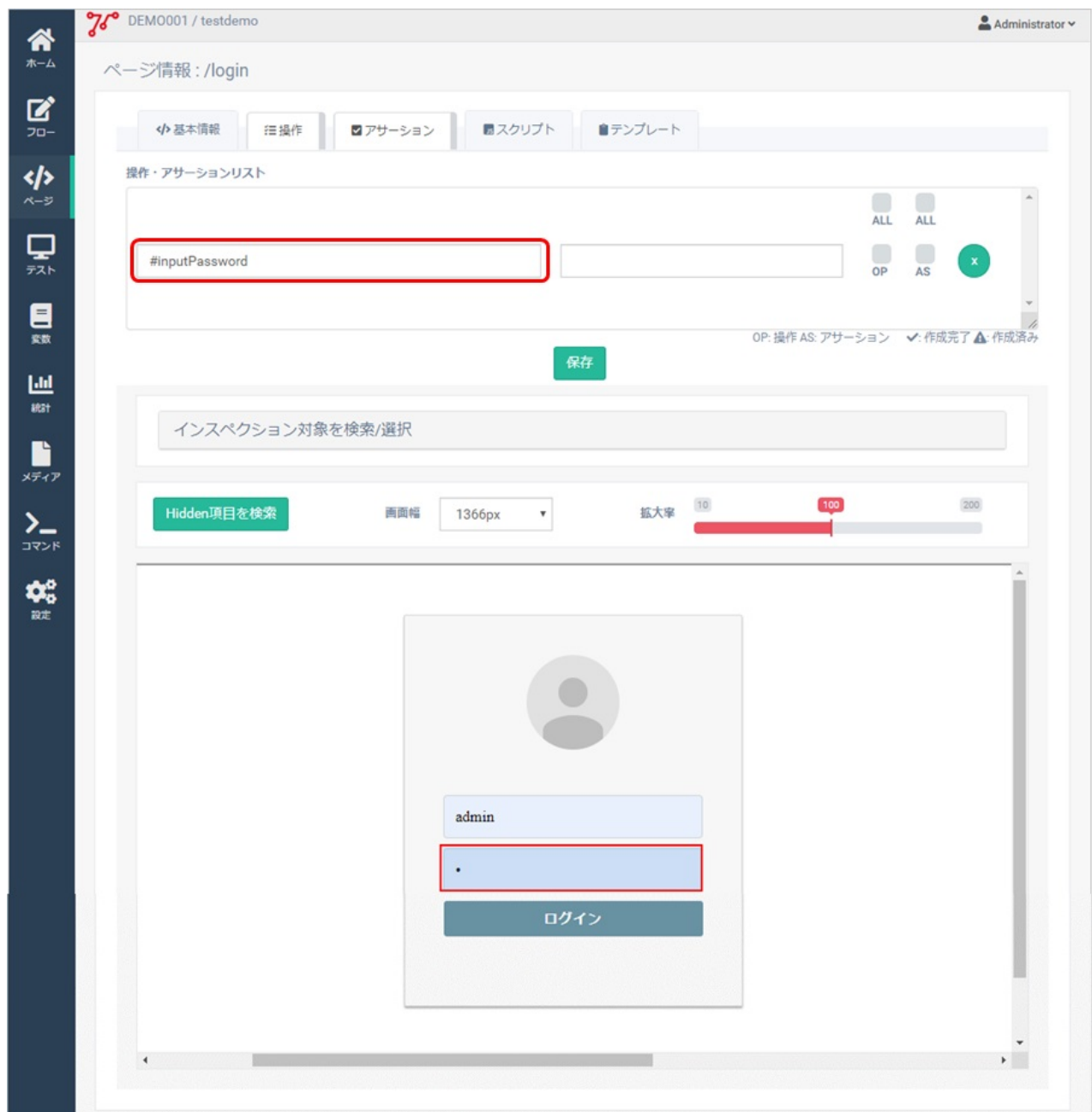


Fig. 5.2.3-5 マルチインスペクション画面 要素選択

アサーションの **対象名** を入力して、**AS**（アサーション）のチェックボックスにチェックしてください。

設定が済んだら **保存** ボタンをクリックしてください。

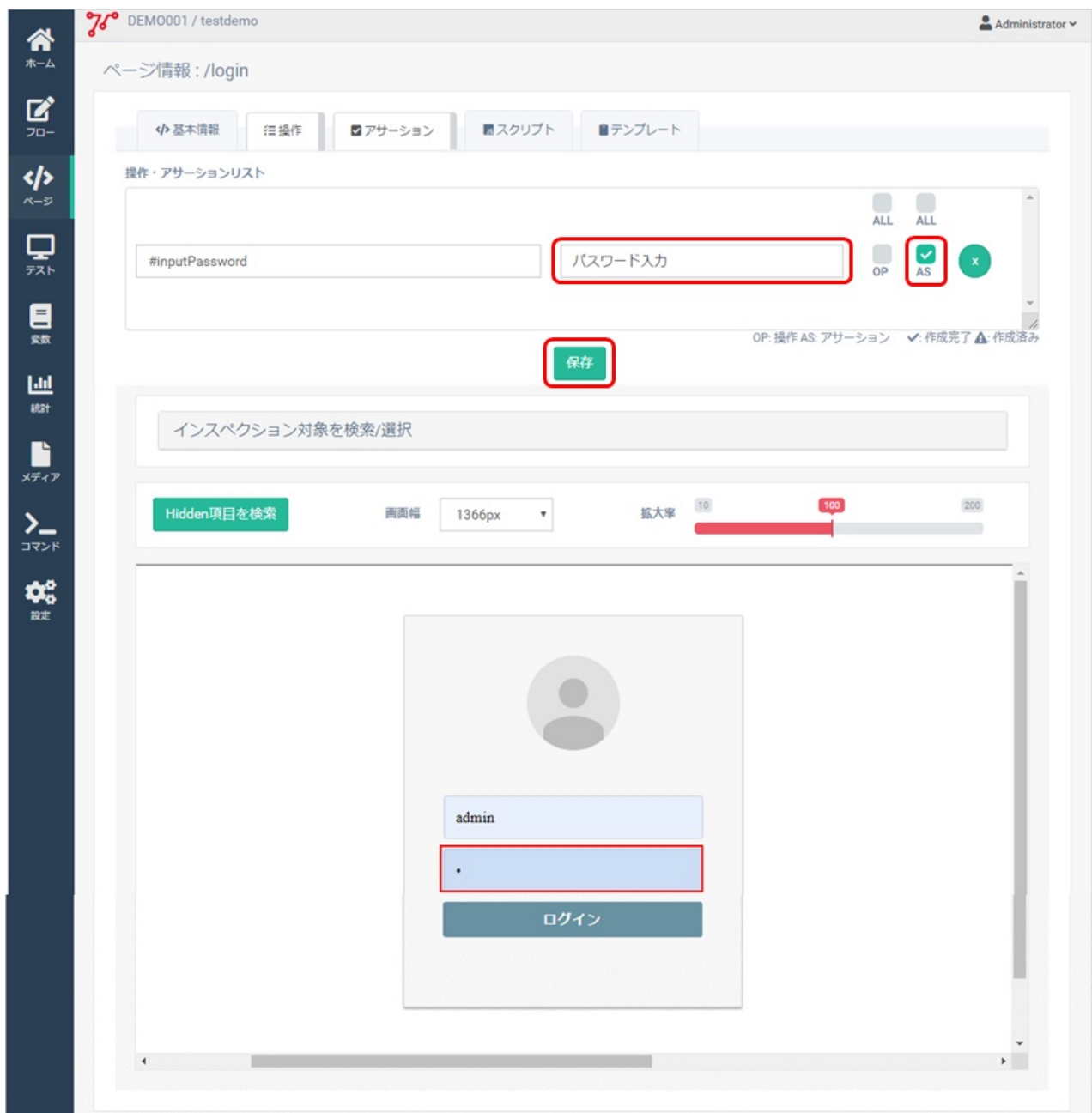


Fig. 5.2.3-6 マルチインスペクション画面 アサーション作成

作成完了のチェックが確認できたら、**アサーション** タブをクリックしてください。

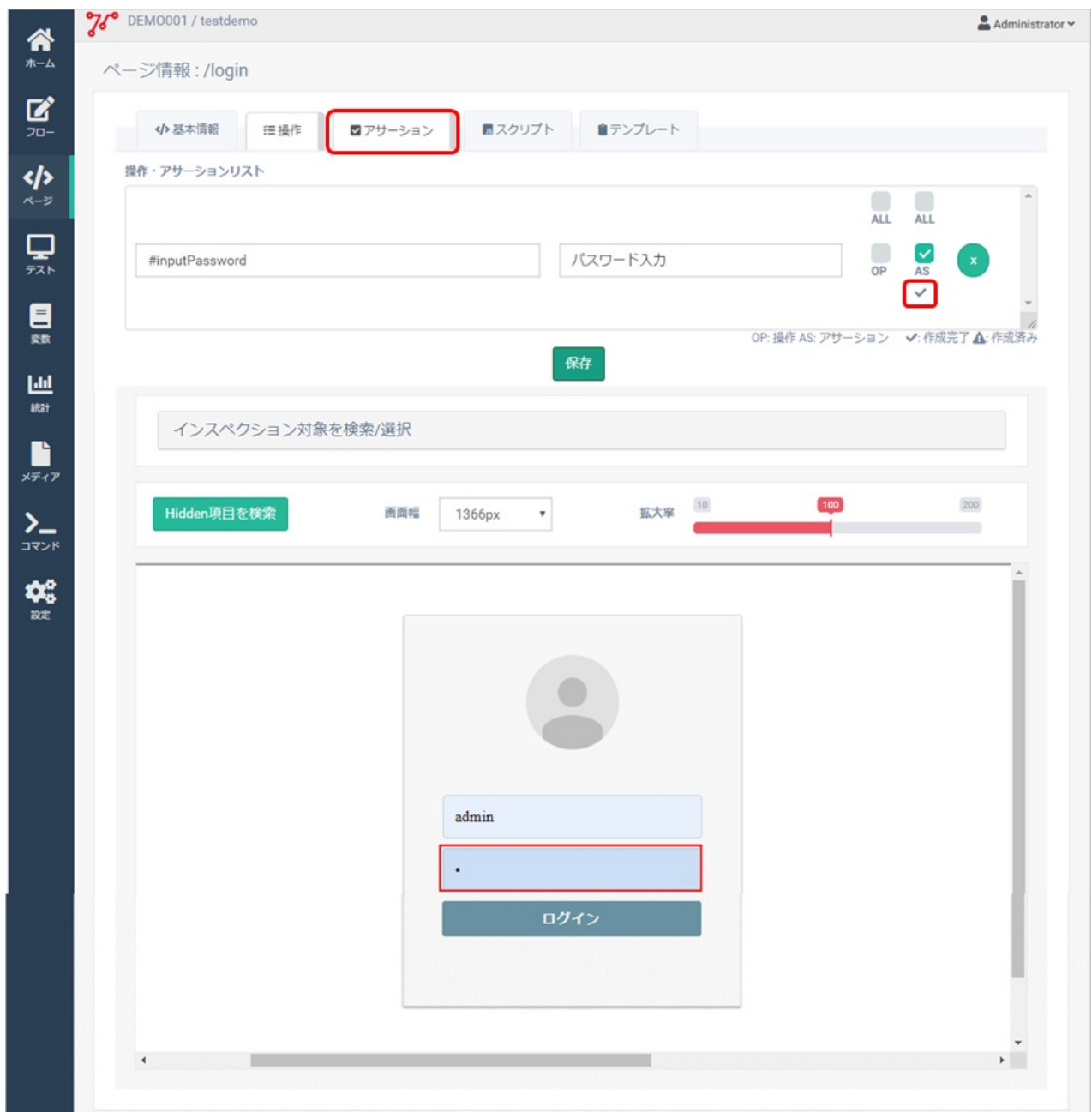


Fig. 5.2.3-7 マルチインスペクション画面 アサーション作成完了

入力した **対象名** でのアサーションの作成が一覧で確認できたら、さきほど作成した対象名のアサーションを をクリックし、アサーション編集画面へ移動します。

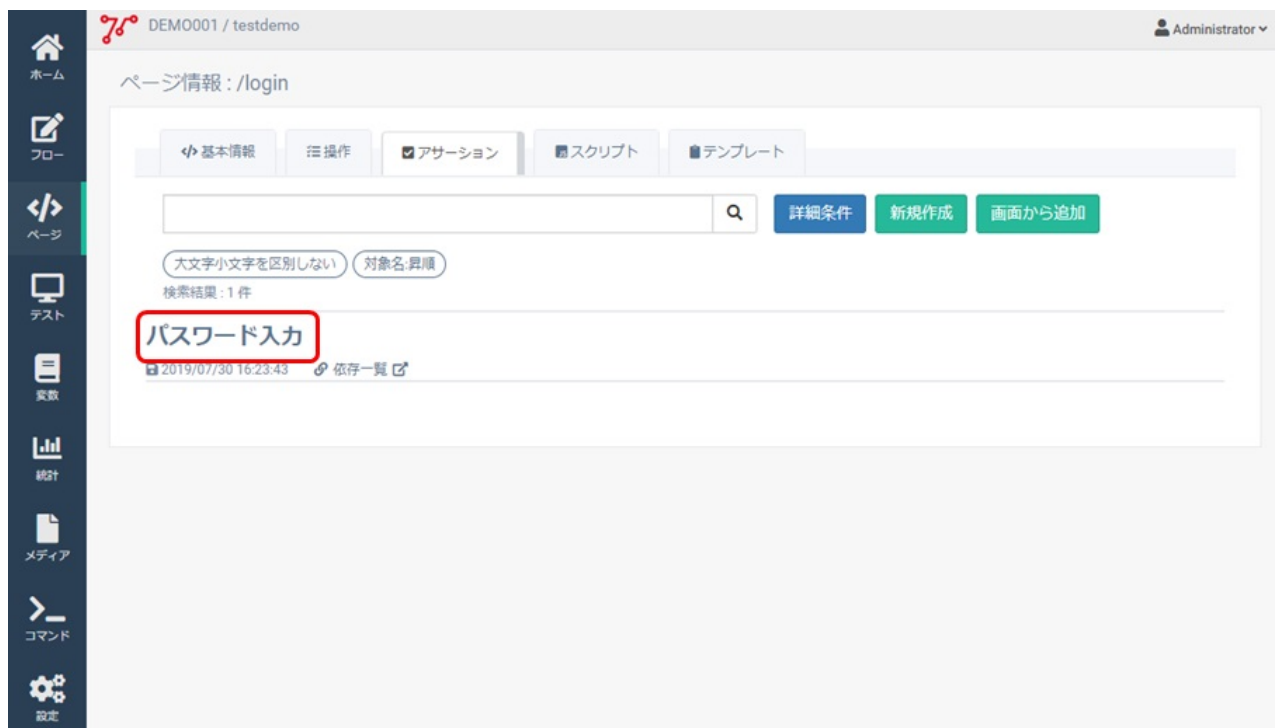


Fig. 5.2.3-8 ページ画面 アサーション アサーション選択

アサーション編集画面で、アサーションの定義を編集します。

編集画面では、さきほどマルチインスペクション画面で指定した **セレクト** と **対象名** が設定されています。

セレクト には '{1}' や '{2}' のような置き換え文字を使用することができます。

置き換え文字を含めた場合、テスト編集でその箇所に指定する値を指定することができます。

(例) セレクトが「テーブルの2行目の1列目」のとき

```
#Product > table > tbody > tr:child(2) > td:child(1)
```

(例) テーブルの行数が可変、あるいは選択可能な列が複数列あるような場合

```
#Product > table > tbody > tr:child({1}) > td:child({2})
```

置き換え文字については、正規表現で規則を定義することもできます。

アサーションの **検証タイプ** の設定をします。

検証タイプ はアサーションで検証するタイプの定義です。複数を選択可能です。

マルチインスペクション画面からアサーションの設定を行うと、セレクトの入力タイプに応じて **検証タイプ** に初期設定のチェックが入っています。検証タイプの設定は自由に変更できます。

アサーションの設定が済んだら **保存** ボタンをクリックしてください。



Fig. 5.2.3-9 ページ画面 アサーション編集

検証タイプ	説明
テキスト一致 テキストを含む テキスト不一致 テキストを含まない	htmlで表示されたテキストに対し指定したテキストが一致する・一致しない、含まれる・含まれない
要素数一致	htmlの要素数が指定した数と一致する
値一致 値を含む 値不一致 値を含まない	inputなどにおけるvalueの値に対し指定した値が一致する・一致しない、含まれる・含まれない
チェックされている チェックされていない チェック不確定	チェックボックスなどに、チェックが入っている・入っていない・不確定
属性値一致 属性値を含む 属性値不一致 属性の指定あり 属性値を含まない 属性の指定なし	htmlタグの属性に対する属性値に対し指定した値が一致する・しない、含まれる・含まれない、属性の指定のあり・なし、属性そのものが指定されていない
表示されている 表示されていない	指定したhtmlの要素が画面に表示されている・表示されていない
存在する 存在しない	指定したhtmlの要素が存在する・しない

5.2.4 テストを作成する

メインメニューの **フロー** をクリックしてください。

表示された フロービューセット画面 の **セッション一覧** からセッションを選んで、**テスト作成** ボタンをクリックします。

(名前を付けたセッションには、セッション名が表示されます。)

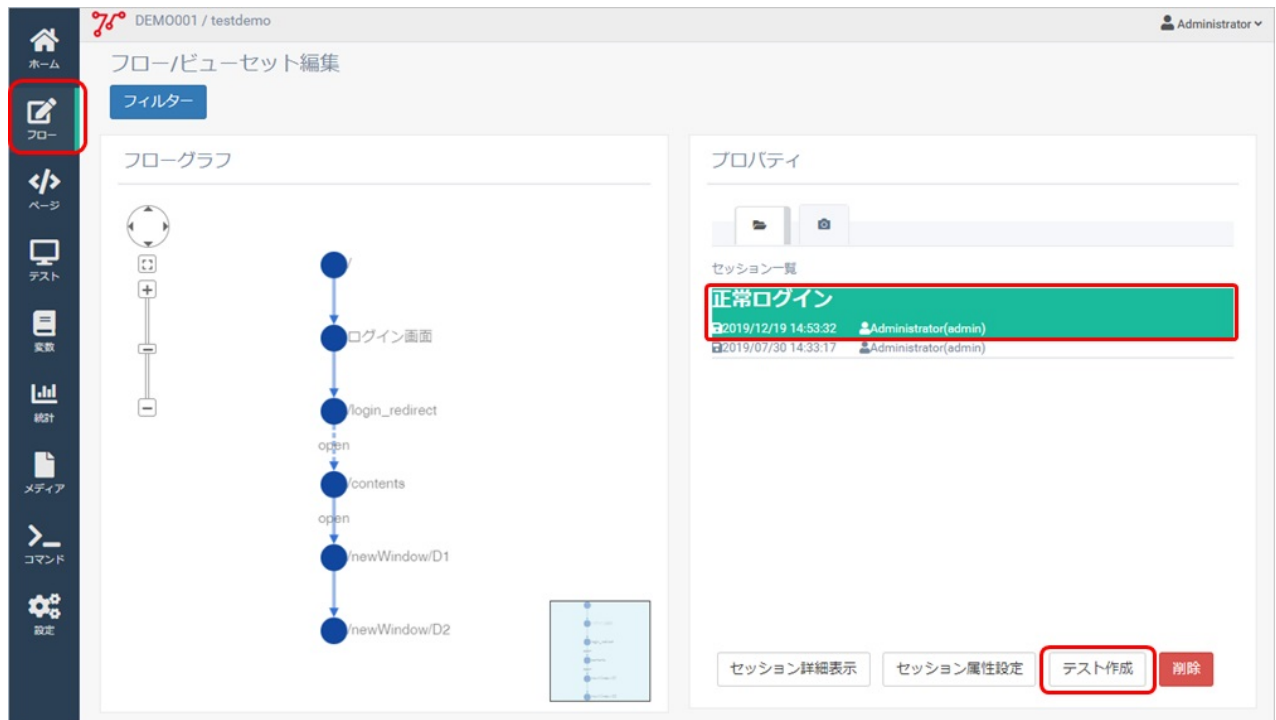


Fig. 5.2.4-1 フロー画面 テスト作成

テスト作成 ダイアログが表示されます。

テスト番号 と **テスト名** を入力し、**作成** ボタンをクリックしてください。

なお、テスト名には以下の文字を含むことができませんのでご注意ください。

¥ / : * ? " < > | () [] { } & \$ ` ^ ~

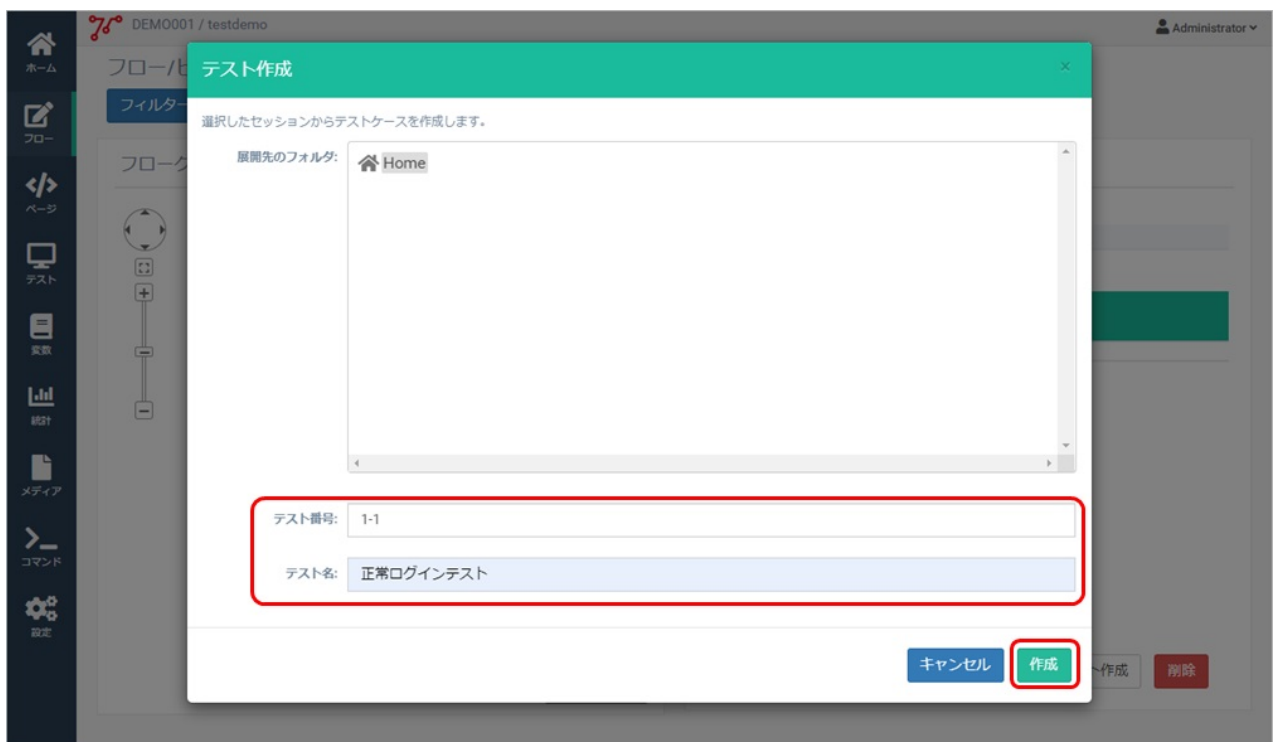


Fig. 5.2.4-2 フロー画面 テスト作成ダイアログ

テストが作成され、**テスト編集** 画面が表示されます。
フローに従って生成された画面遷移と、操作の流れが表示されます。

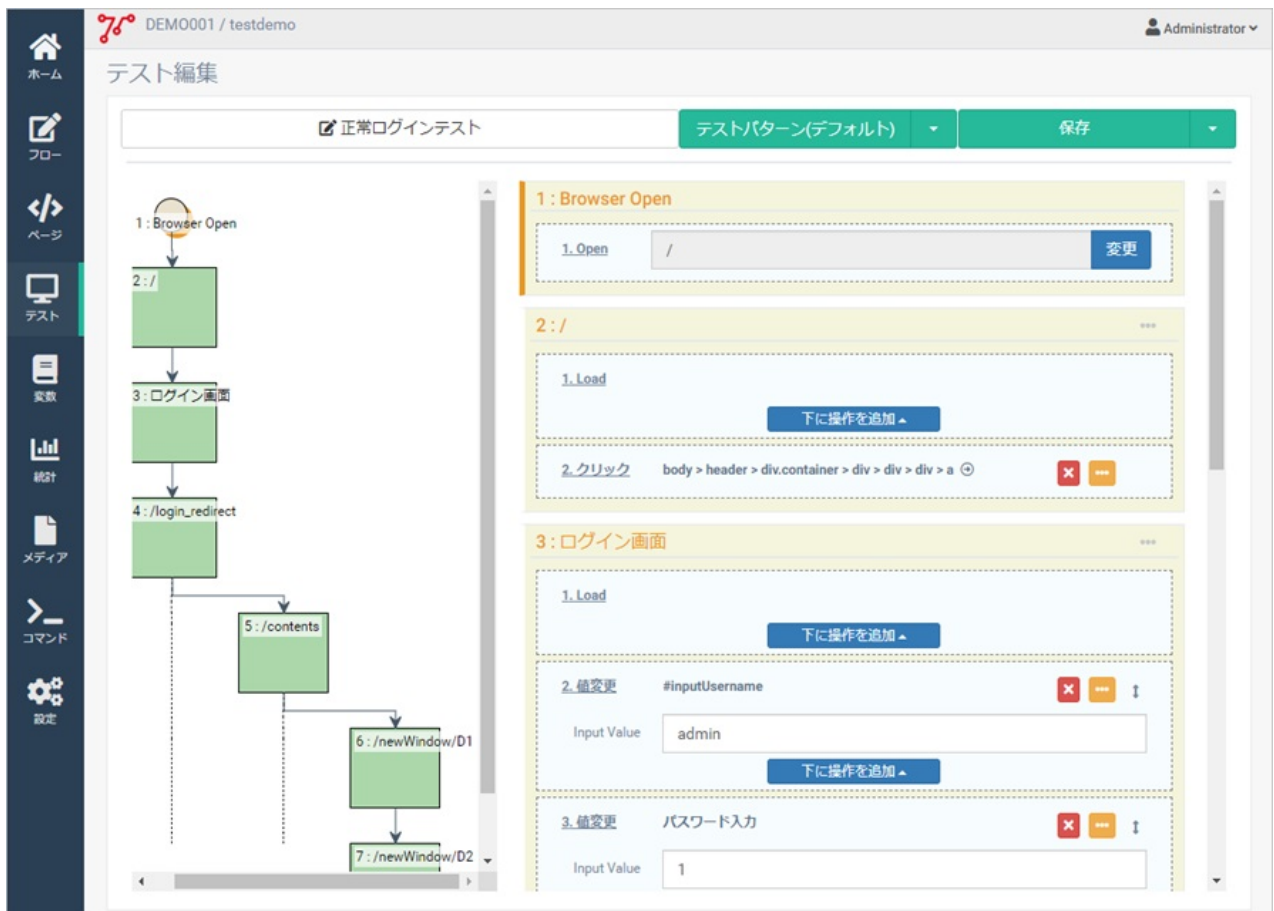


Fig. 5.2.4-3 テスト編集画面 テスト作成

5.3 テストの設定をする

テスト編集 画面は作成したテストの内容を編集し、アサーションや操作の設定をする画面です。

5.3.1 テストを編集する

先ほど定義したアサーションをテストに設定していきます。

テスト編集 画面左には画面遷移のフローチャートが表示されます。

ページ編集画面で名前を付けた画面には、画面名が表示されます。

フローチャートで、アサーションを設定する画面のアイコンをクリックしてください。

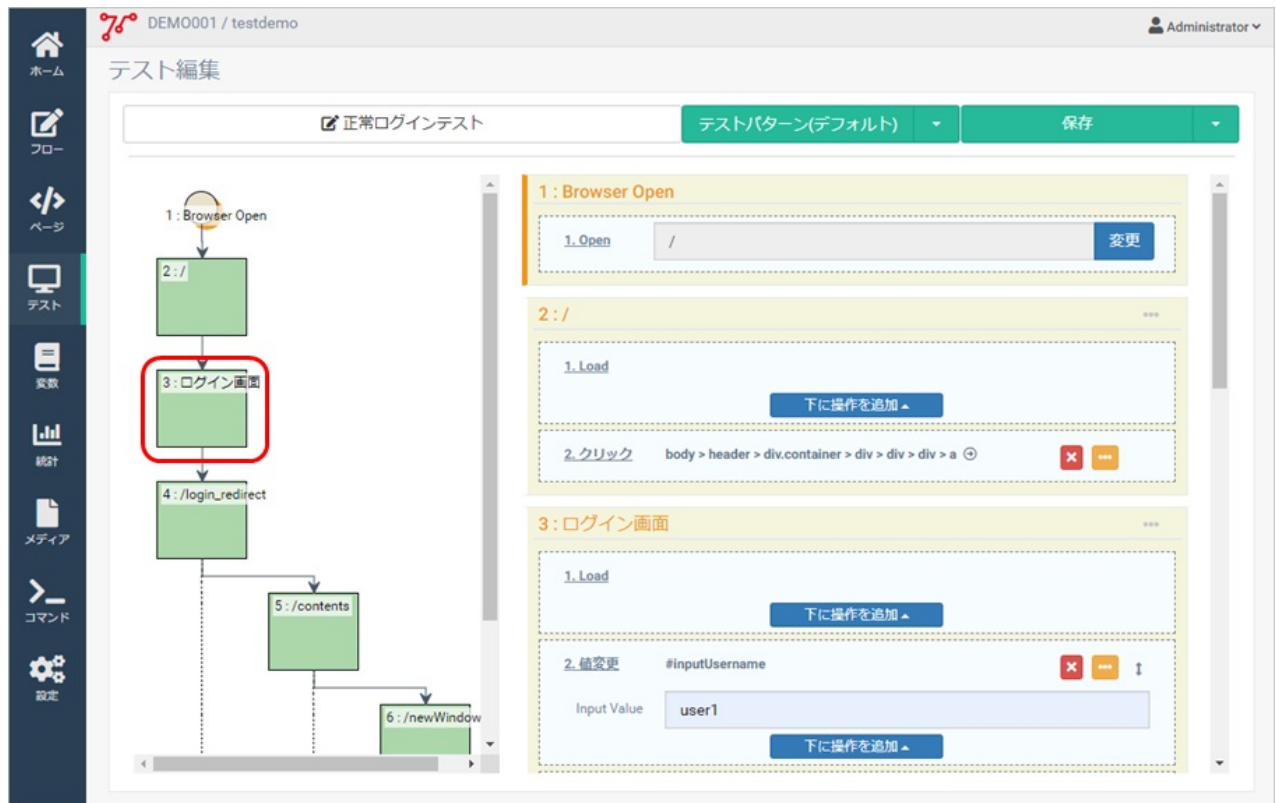


Fig. 5.3.1-1 テスト編集画面 画面選択

クリックした画面の詳しい操作内容が画面右に表示されます。

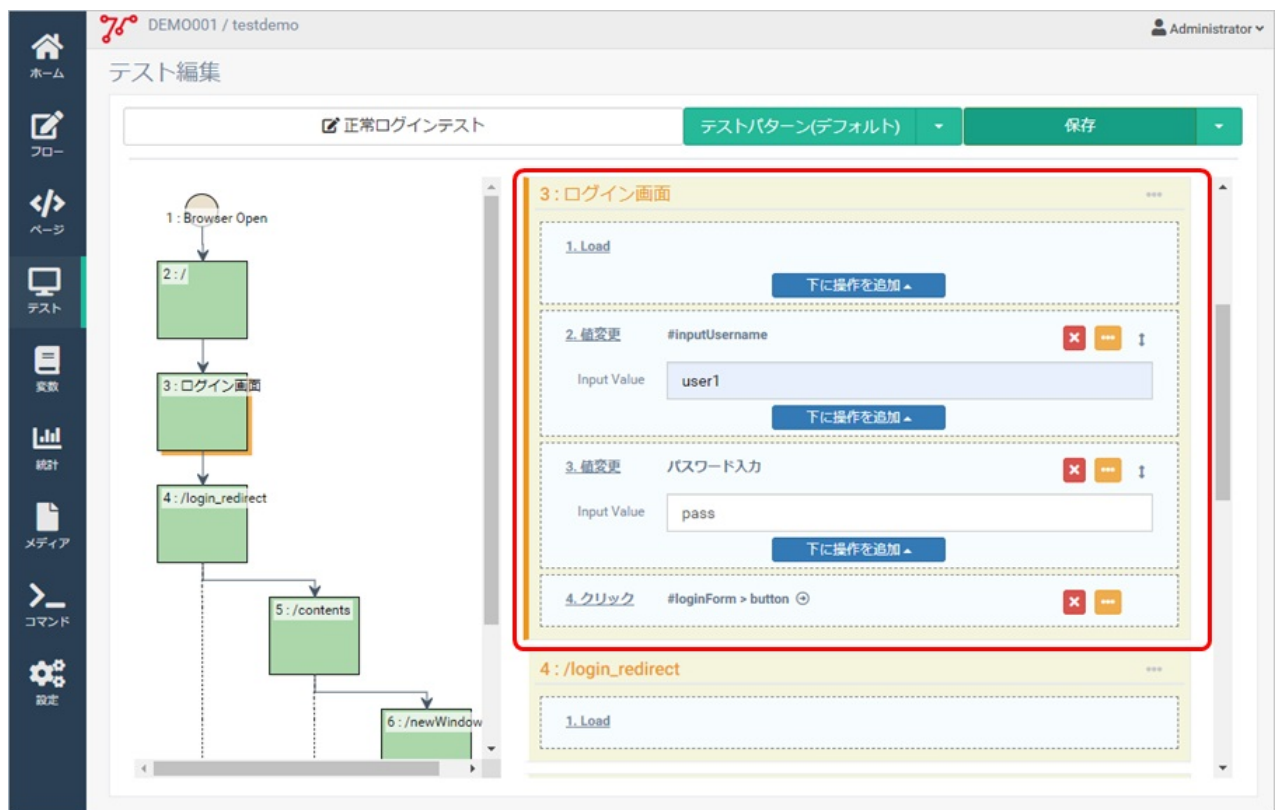


Fig. 5.3.1-2 テスト編集画面 内容表示

アサーションを設定する操作の **下に操作を追加** ボタンをクリックしてください。

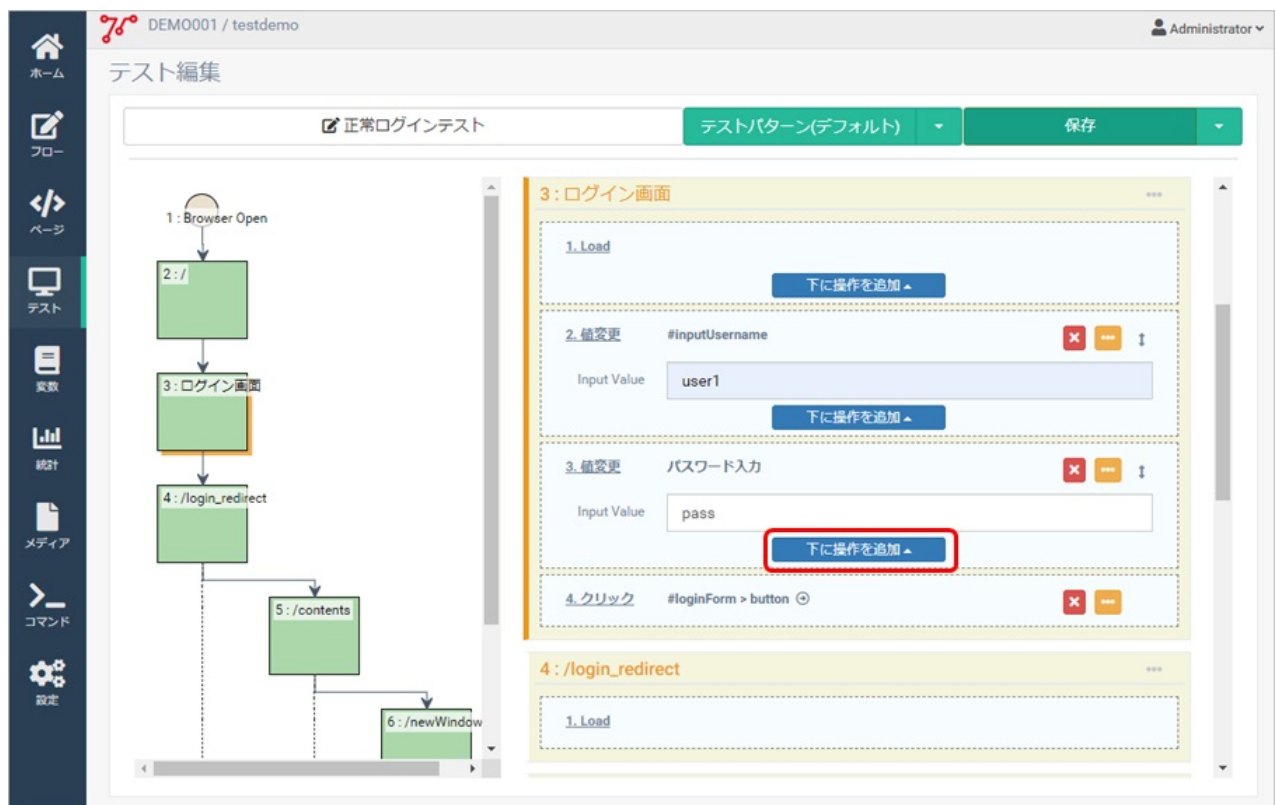


Fig. 5.3.1-3 テスト編集画面 操作を追加

表示されたプルダウンメニューから**アサーション追加** を選択してください。

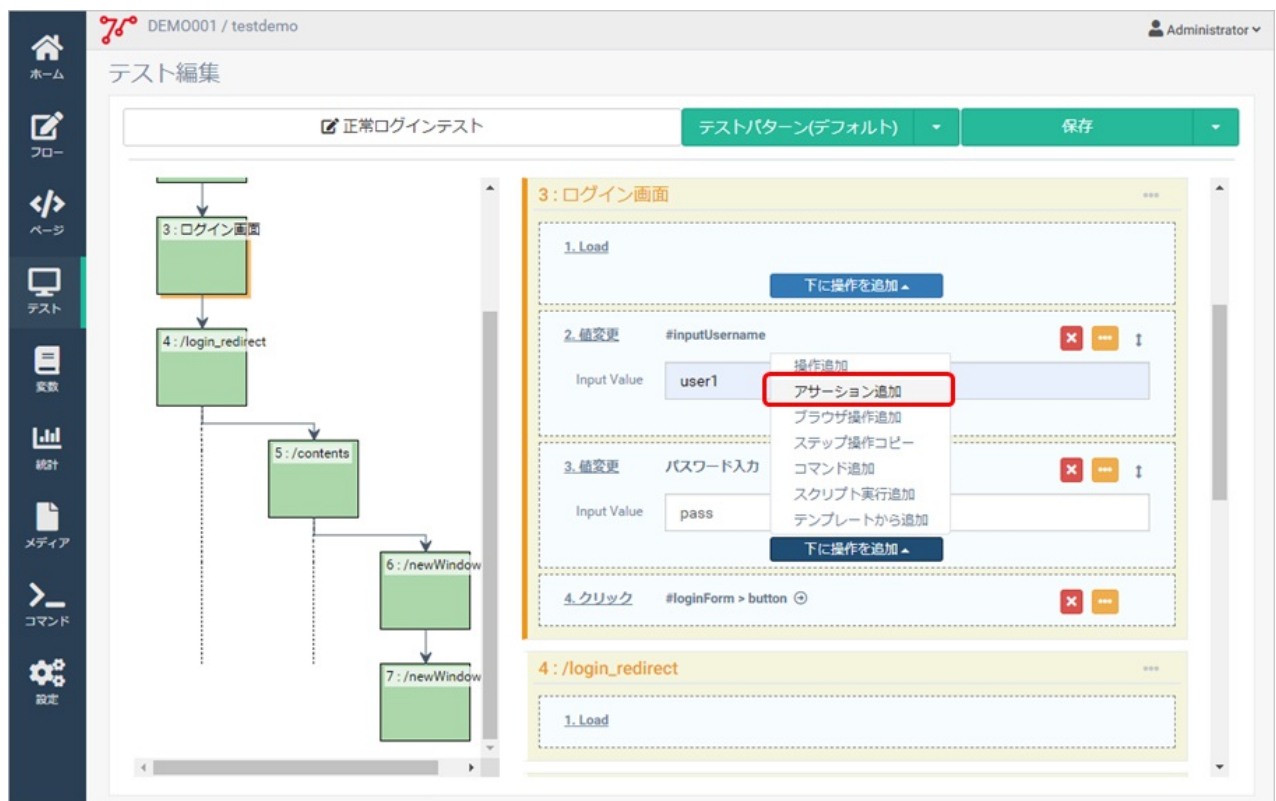


Fig. 5.3.1-4 テスト編集画面 操作プルダウンメニュー

追加アサーション選択 ダイアログが表示されます。

チェックするアサーションの検出タイプをプルダウンメニューから選択し、**Add** ボタンをクリックしてください。

追加アサーション選択ダイアログを閉じるには、**キャンセル**ボタンをクリックしてください。

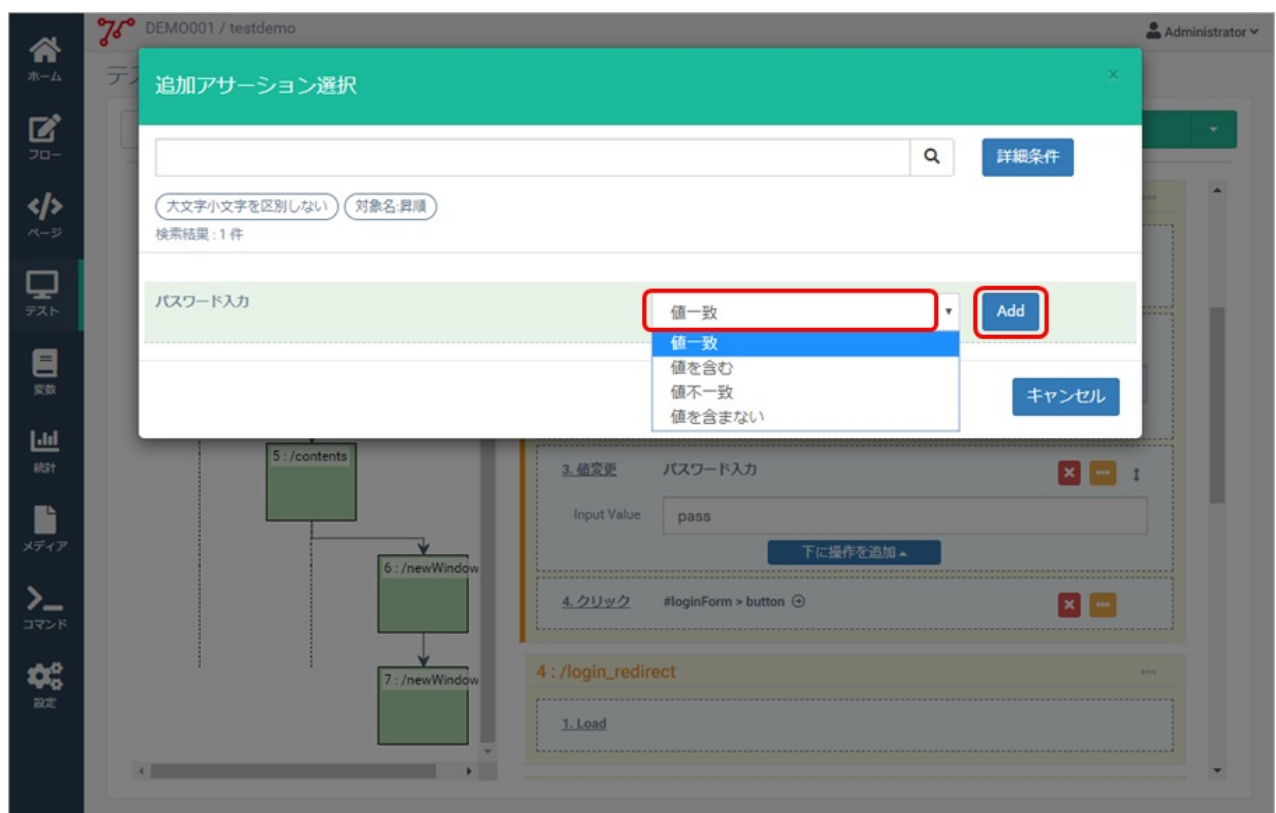


Fig. 5.3.1-5 テスト編集画面 アサーション追加ダイアログ

アサーションが追加されます。

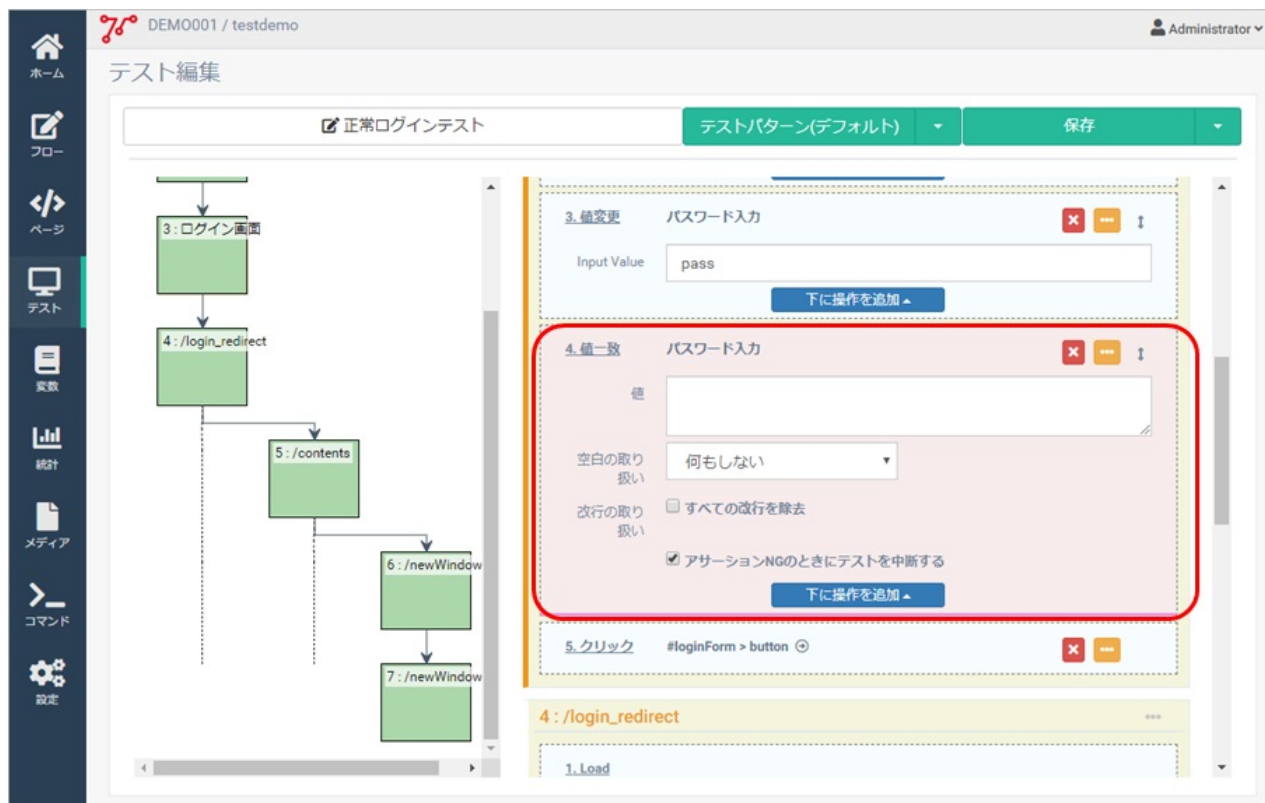


Fig. 5.3.1-6 テスト編集画面 アサーション追加

「テキスト一致」「値一致」などのアサーションであれば、チェックを行うテキストや値を入力してください。

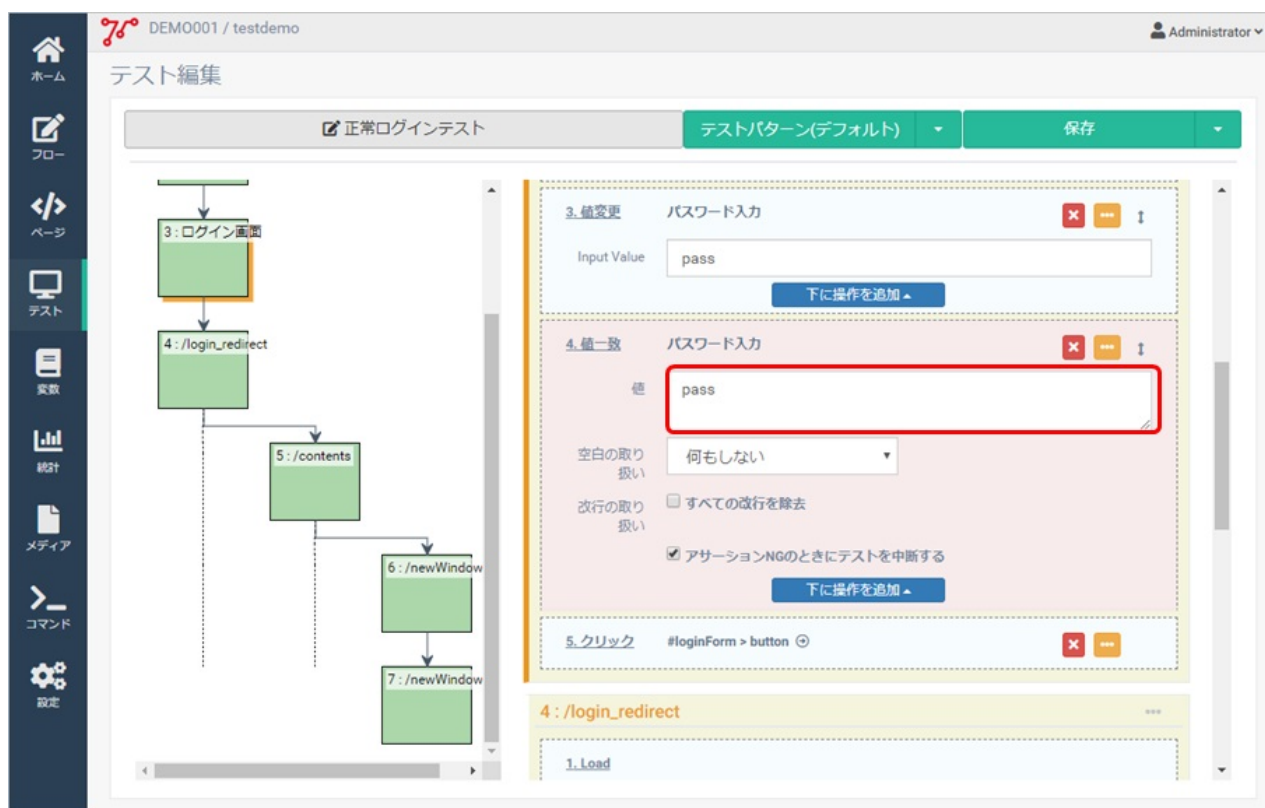


Fig. 5.3.1-7 テスト編集画面 値入力

操作名をクリックすると、**スクリーンショット** プルダウンが表示されます。
プルダウンから「ブラウザ」または「デスクトップ」を選択すると、自動テスト実行時に、この操作を

実行した後に「ブラウザ画面のみ」または「デスクトップ全画面」のスクリーンショットが取得されます。必要に応じて選択してください。

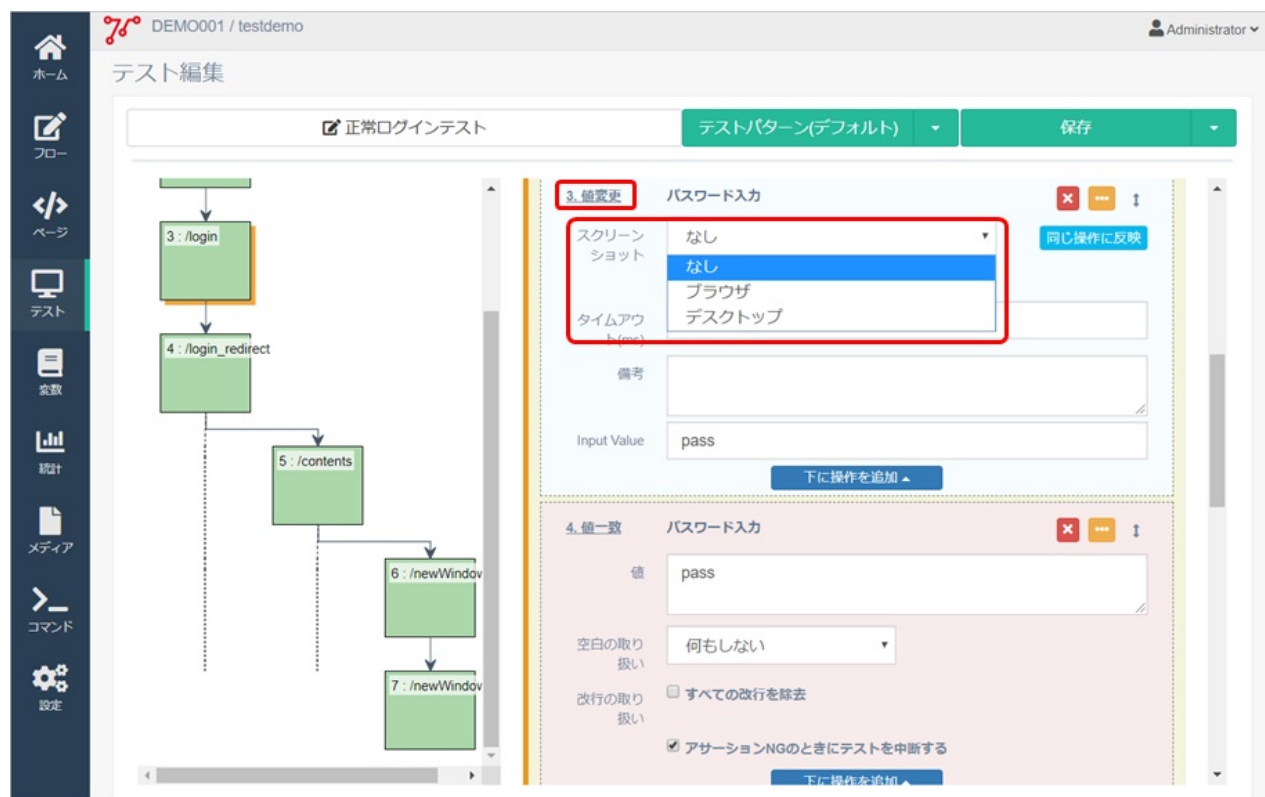


Fig. 5.3.1-8 テスト編集画面 スクリーンショット

テストの編集が済んだら、右上の **保存** ボタンをクリックしてください。

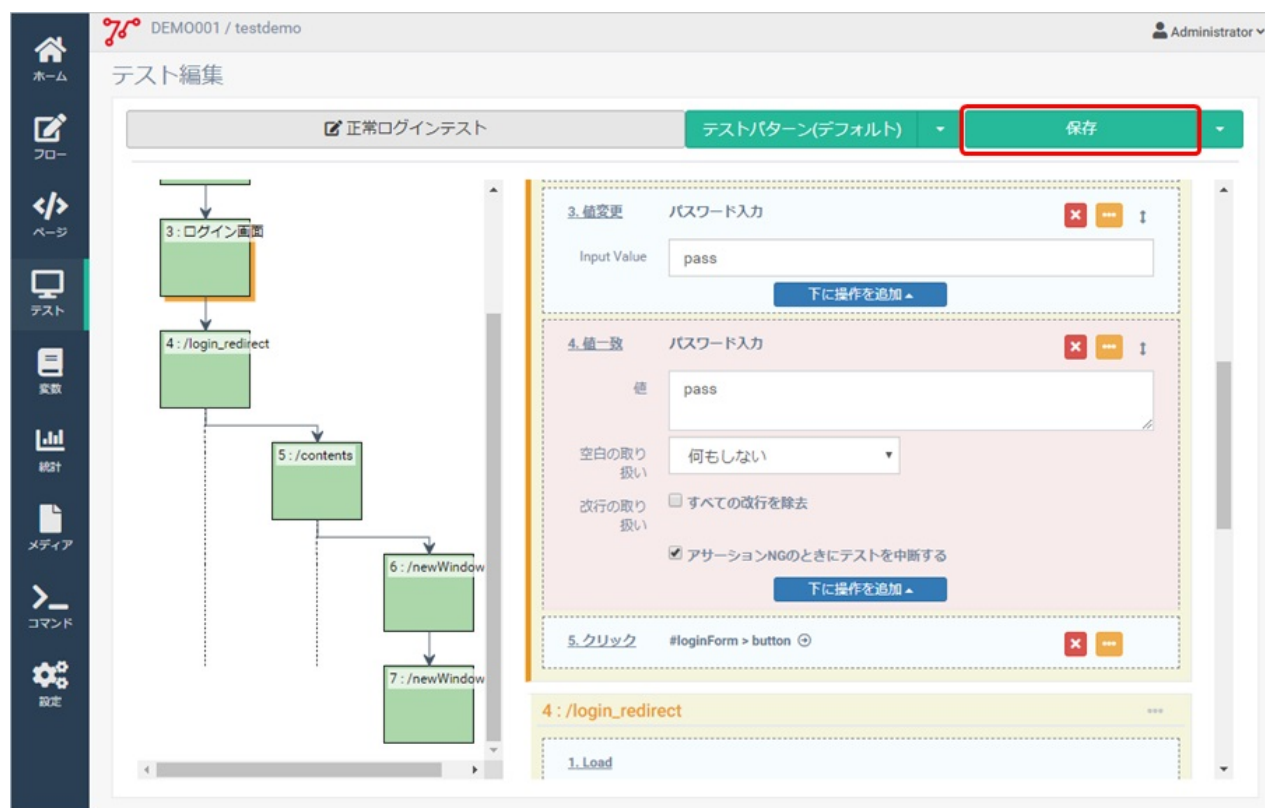


Fig. 5.3.1-9 テスト編集画面 保存

保存されました。 のポップアップが表示され、テストの編集内容が保存されます。

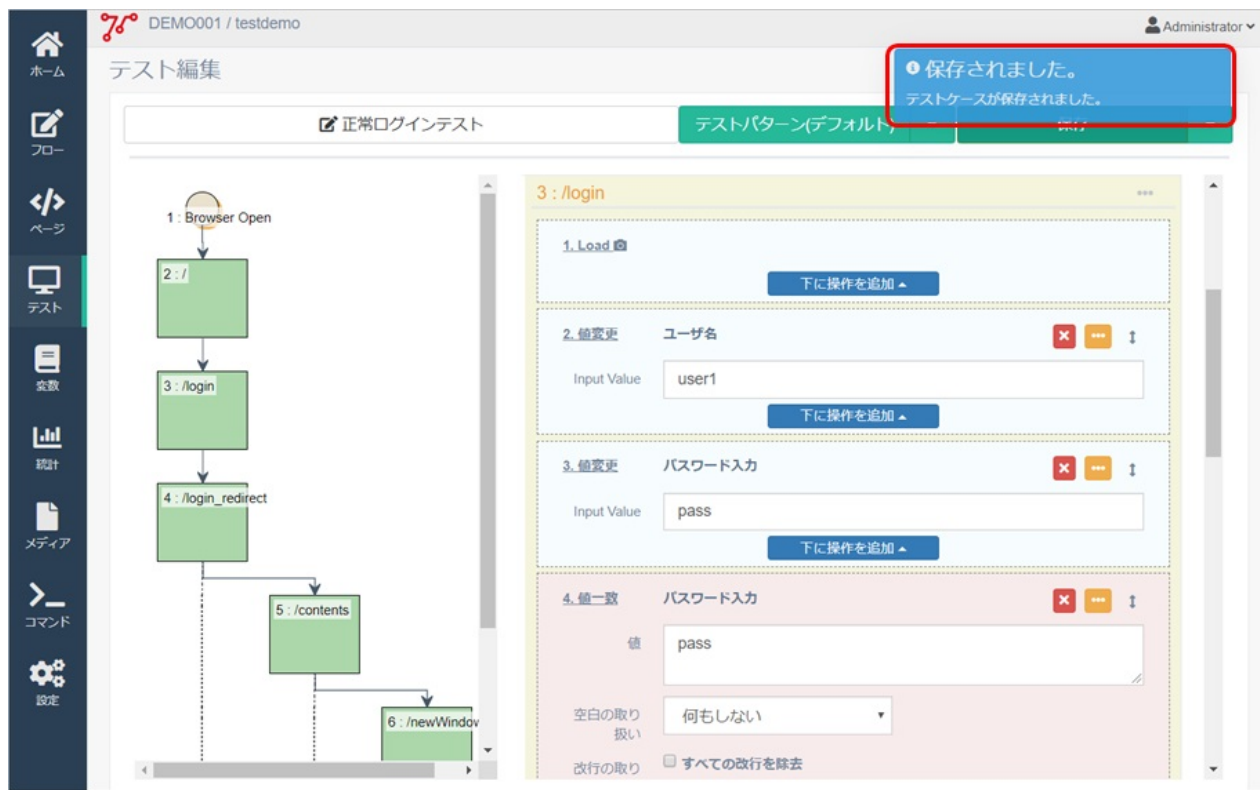


Fig. 5.3.1-10 テスト編集画面 保存完了

テスト編集 画面の編集中にほかの画面に移動しようとする、「このサイトを離れますか？」ダイアログが表示されます。

保存 ボタンをクリックしないと編集は保存されません。

保存したかを必ず確認してから移動してください。



Fig. 5.3.1-11 テスト編集画面 「このサイトを離れますか？」ダイアログ

5.3.2 テストパターンをダウンロード・アップロードする

作成したテストを **テストパターンファイル** として出力することで、実施するテストのパターンの追加・変更ができます。

テストパターン (初期選択状態は『テストパターン(デフォルト)』) プルダウンボタンをクリックしてください。

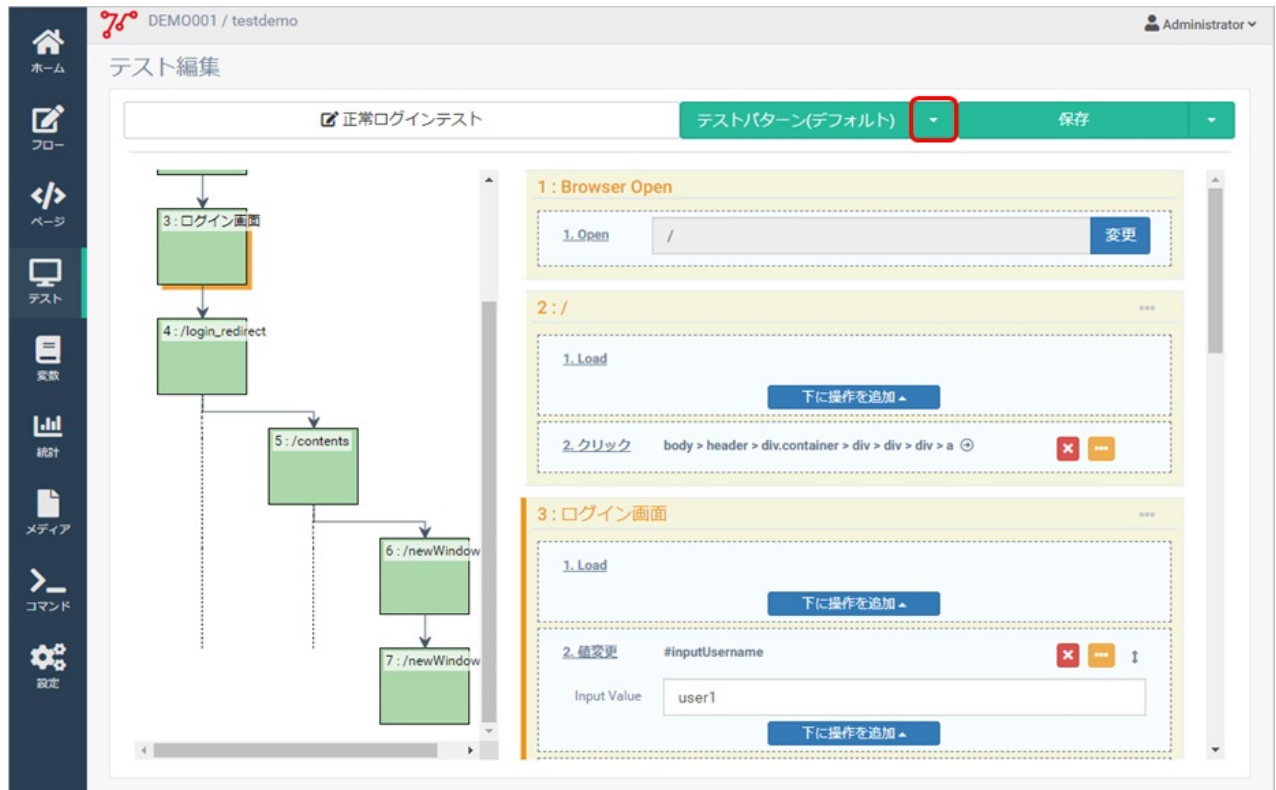


Fig. 5.3.2-1 テスト編集画面 パターン

プルダウンメニューが表示されます。

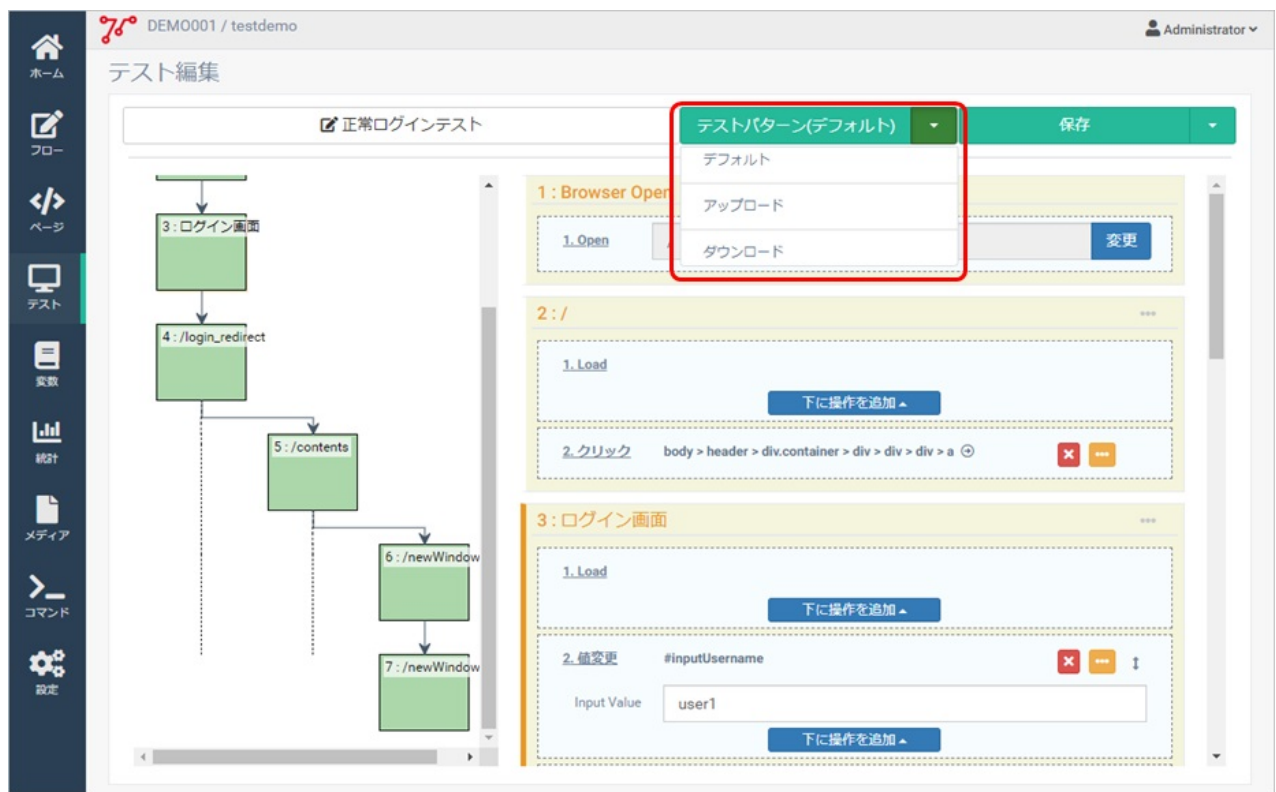


Fig. 5.3.2-2 テスト編集画面 パターンプルダウン

ダウンロード を選択してください。

Excelファイル形式（.xlsx）でテストファイルがダウンロードされます。

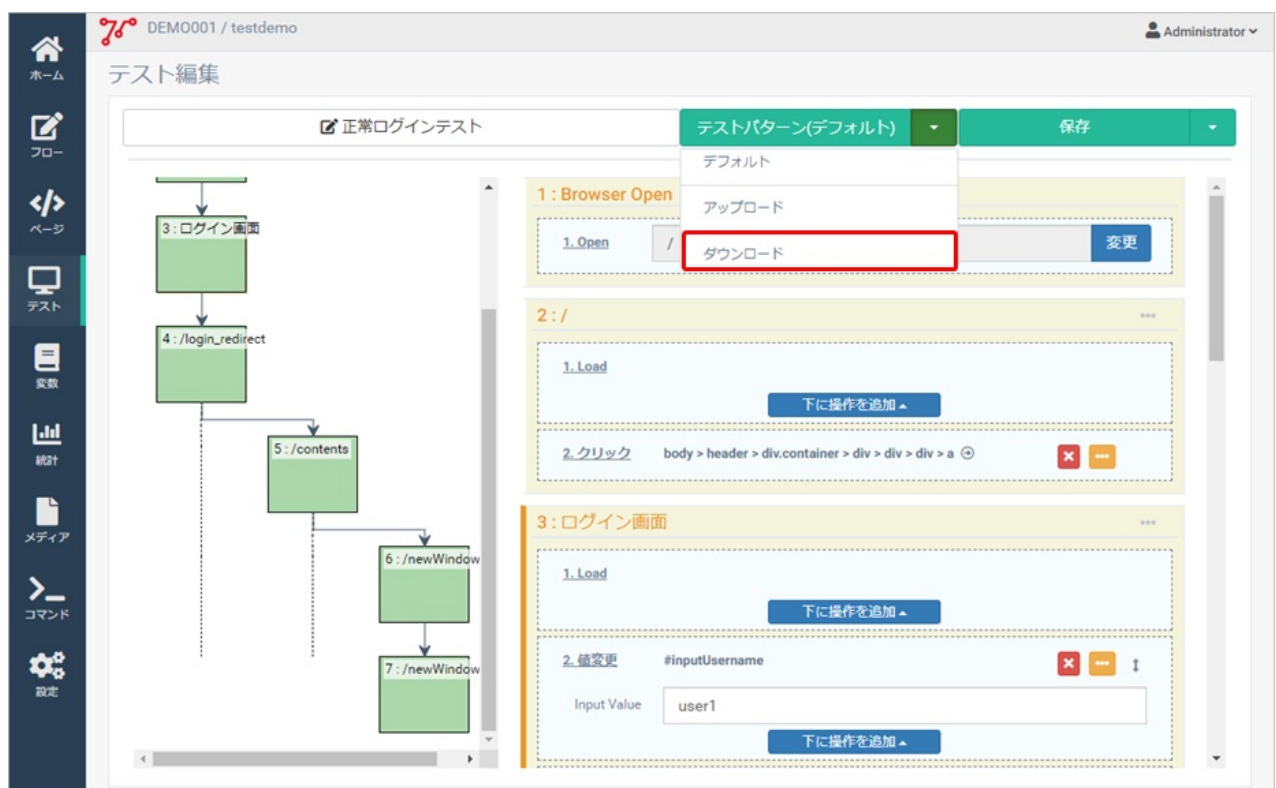


Fig. 5.3.2-3 テスト編集画面 ダウンロード

編集したテストパターンファイルを読み込む場合は **アップロード** を選択してください。

※ テストパターンファイルの詳細は、**Testabliish 入出力ファイル仕様 > 2. Testabliish テストパターンファイル** を参照してください。

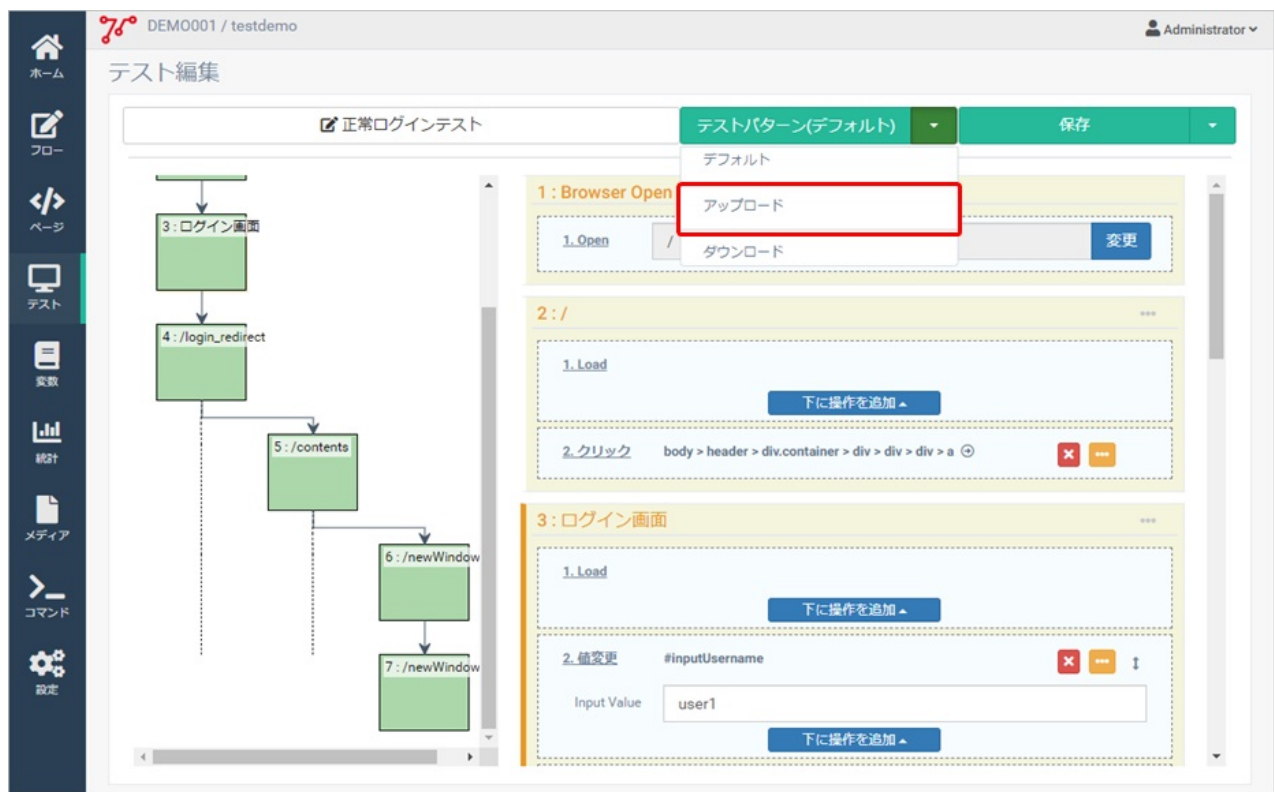


Fig. 5.3.2-4 テスト編集画面 アップロード

エクスプローラーが開きます。アップロードするファイルを選択してください。

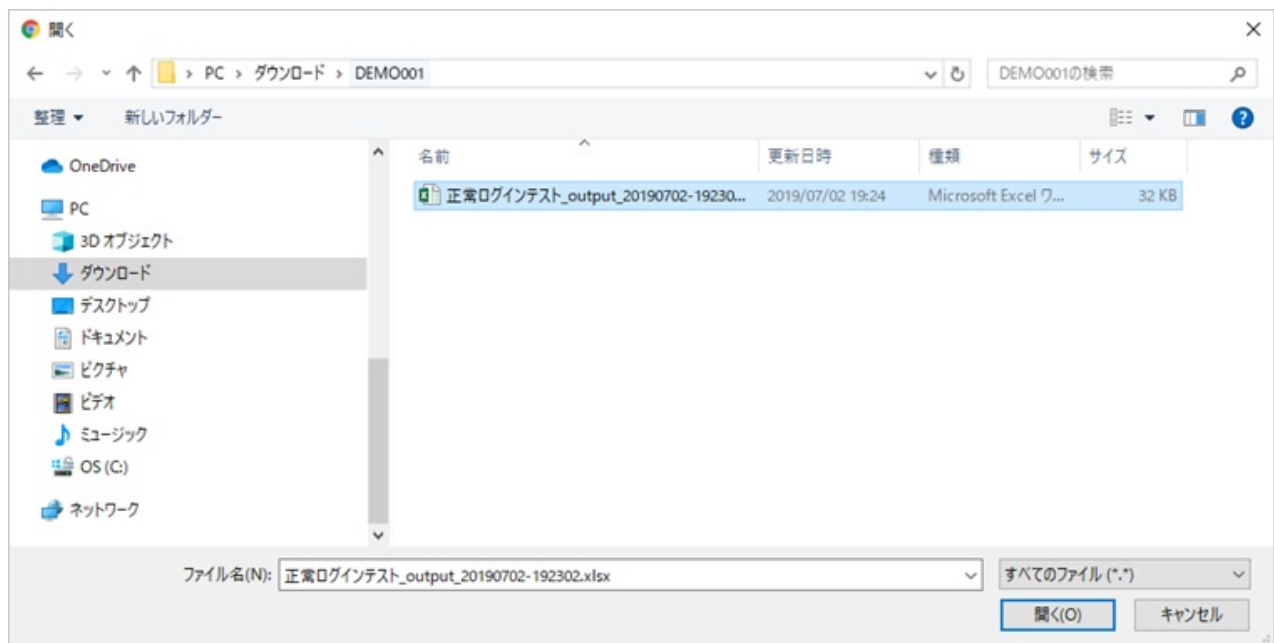


Fig. 5.3.2-5 テスト編集画面 アップロードエクスプローラー

テストファイルにパターンを追加してアップロードすると、**テストパターン プルダウンメニュー** から追加した入力パターンが選択できるようになります。

5.3.3 テストコードを出力する

保存したテストは、Seleniumで実行できるテストコードとして出力することができます。

保存 プルダウンボタンをクリックしてください。

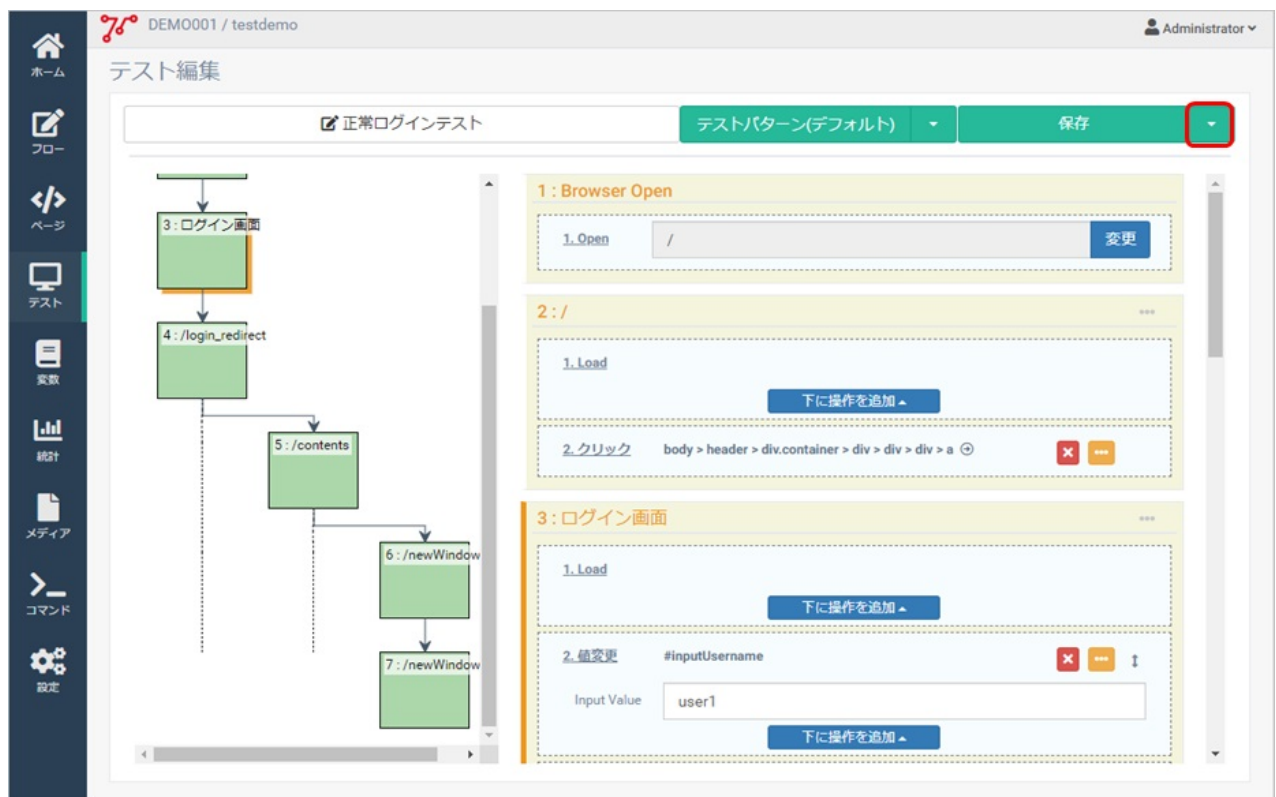


Fig. 5.3.3-1 テスト編集画面 テストコード

プルダウンメニューが表示されます。

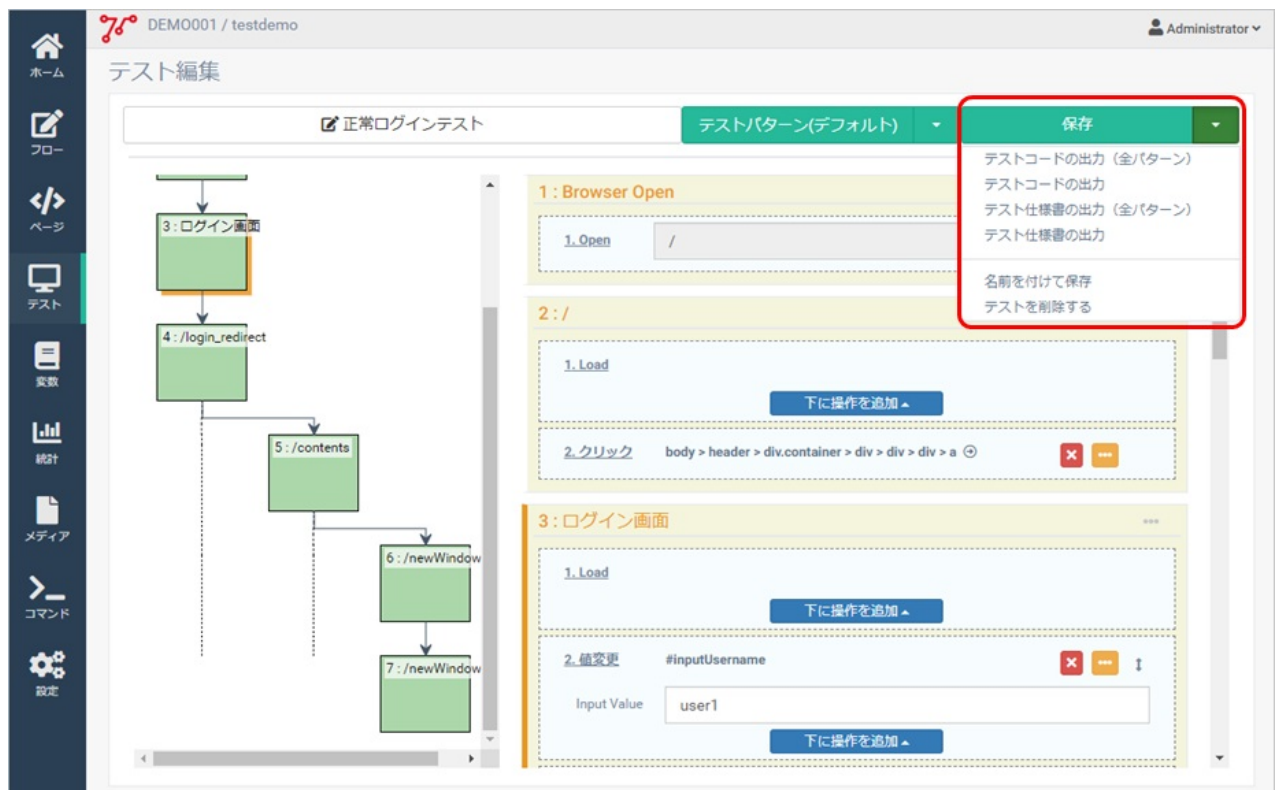


Fig. 5.3.3-2 テスト編集画面 テストコードプルダウン

テストコードの出力 を選択してください。zipファイルでテストコードが出力されます。
(実行の手順は、[6. テストを自動実行する](#) を参照してください。)

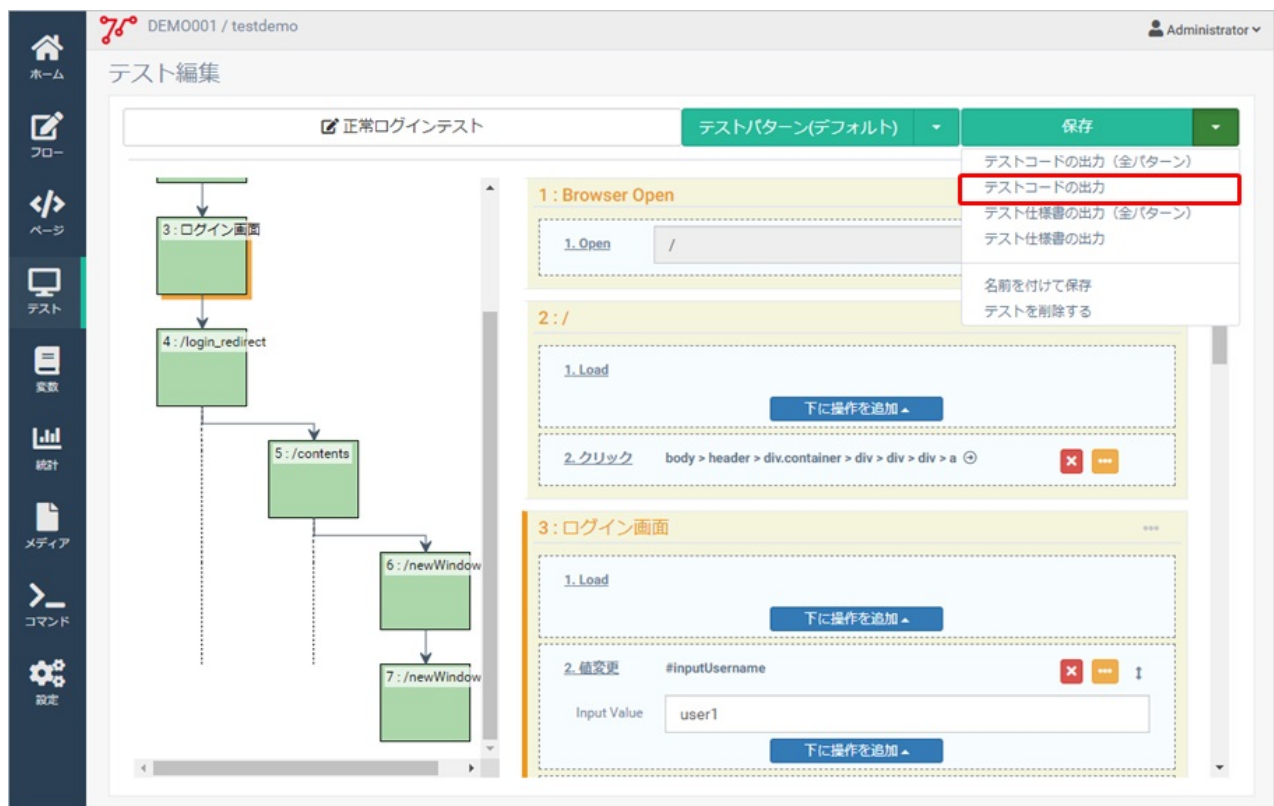


Fig. 5.3.3-3 テスト編集画面 テストコード出力

5.3.4 テスト仕様書を作成する

作成したテストからは、テスト仕様書が生成できます。

※ テスト仕様書の詳細は、別マニュアルの **入出力ファイル仕様 > 1. Testabliish テスト仕様書** を参照してください。

保存 ブルダウンメニューから、**テスト仕様書の出力** を選択してください。

zipファイルで出力されますので、zipファイルを展開してください。

作成されるテスト仕様書はExcelファイル形式（.xlsx）または wordファイル形式(.docx)です。

（プロジェクト設定の**テスト仕様書出力タイプ**に従います。）

複数のテストパターンがある場合、テスト仕様書は表示しているパターンのものが作成されます。

DEM0001 / testdemo Administrator

テスト編集

正常ログインテスト テストパターン(デフォルト) 保存

テストコードの出力 (全パターン)
テストコードの出力
テスト仕様書の出力 (全パターン)
テスト仕様書の出力
名前を付けて保存
テストを削除する

1: Browser Open

1. Open /

2: /

1. Load

下に操作を追加

2. クリック body > header > div.container > div > div > a

3: ログイン画面

1. Load

下に操作を追加

2. 値変更 #inputUsername

Input Value user1

下に操作を追加

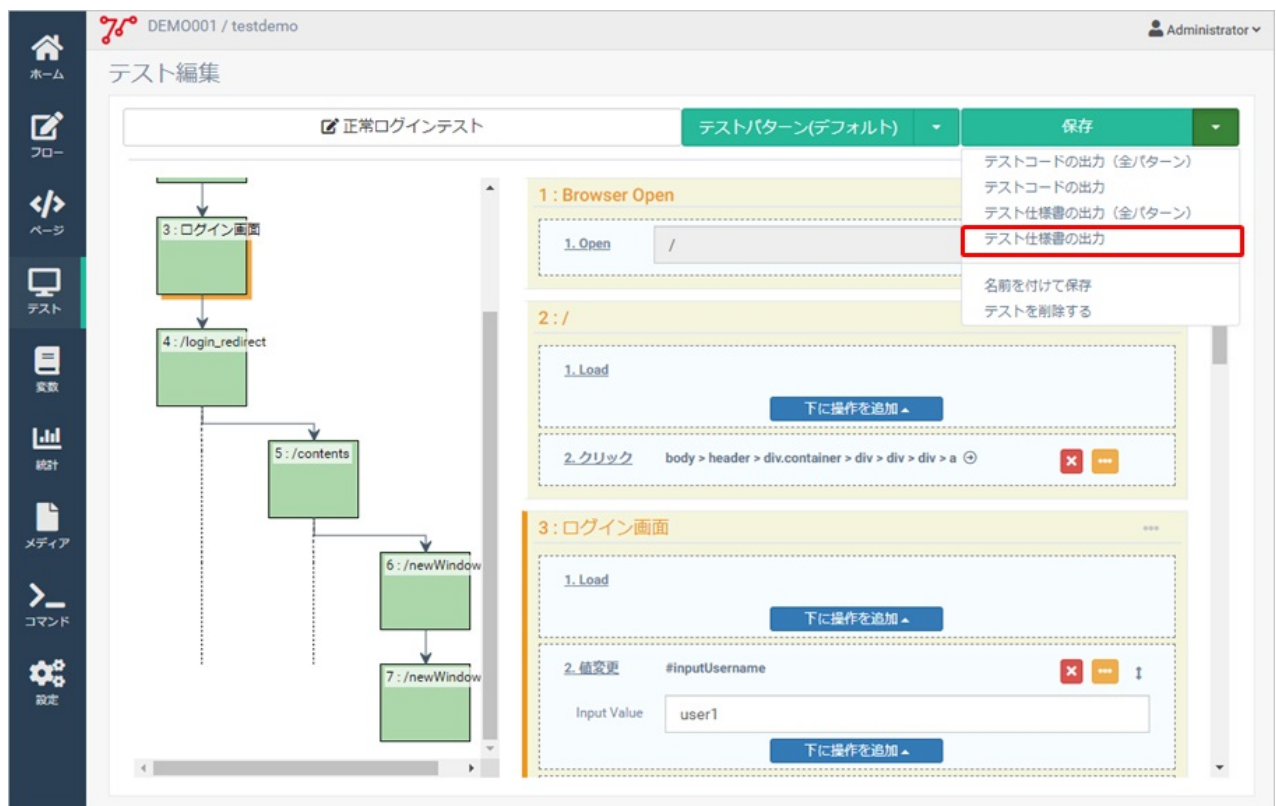


Fig. 5.3.4-1 テスト編集画面 テスト仕様書の出力

[目次](#) に戻る

6. テストを自動実行する

テスト実行用ソフトウェア、ブラウザ、OSの設定をして、Testabliishで生成したテストを自動実行します。

テスト実行環境は、Windows 10 を想定しています。

テスト実行ブラウザを Internet Explorer とする説明になります。

その他のブラウザ環境で実行する場合は [6.6 テストコードを実行する](#) を参照してください。

6.1 Selenium をインストールする

Testabliish で出力したテストコードの自動実行には、Seleniumを使います。

以下のURLから Selenium （3.8系）をダウンロードしてください。

http://selenium-release.storage.googleapis.com/3.8/IEDriverServer_x64_3.8.0.zip

展開して「C:/selenium/IEDriverServer_x64_3.8.0/IEDriverServer.exe」 となるように配置してください。

6.2 Internet Explorer の設定を確認する

- ブラウザの ツール メニュー > インターネットオプション を開き、以下の項目を確認してください。
 - プライバシータブ > 「ポップアップブロックを有効にする」が **無効** になっていること。
 - セキュリティタブ > 全ゾーンの「保護モードを有効にする」が **有効** になっていること。
 - 詳細設定タブ > 設定一覧 の「拡張保護モードで64ビットプロセッサを有効にする」のチェックがなく **無効** になっていること。
 - 詳細設定タブ > 設定一覧の「拡張保護モードを有効にする」のチェックがなく **無効** になっていること。
- ブラウザの右上の「ツール」アイコン（歯車の形のアイコン）をクリックし以下の項目を確認してください。
 - 拡大 が「**100%**」に設定されていること。

6.3 Windows10 の設定をする

- ディスプレイの設定をします。
 1. デスクトップ左下の Windows アイコンをクリックしてください。
 2. 設定（歯車の形のアイコン）をクリックしてください。
 3. システム > ディスプレイ の「テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを変更する」を「100%」に設定してください。
- レジストリの設定のため、レジストリエディターを開きます。
 1. Wndows システムツール > ファイル名を指定して実行 を選択してください。
 2. [regedit]と入力して、レジストリエディターを起動してください。
 3. HKEY_LOCAL_MACHINE を右クリック > エクスポート でレジストリのバックアップを取ってください。
レジストリの設定は、誤ると Windows 自体の動作が異常になる恐れがあります。**必ずバックアップを取ってください。**

- レジストリエディターでレジストリを設定します。
 1. HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\Internet Explorer\Main\FeatureControl に、キー(ディレクトリ) [FEATURE_BFCACHE] を追加してください。
 2. 1 で追加したキーの中に DWORD値 で 名前 : [iexplore.exe]、値 : [0] を追加してください。
 3. HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Wow6432Node\Microsoft\Internet Explorer\Main\FeatureControl に、キー(ディレクトリ) [FEATURE_BFCACHE] を追加してください。
 4. 3 で追加したキーの中に DWORD値 で 名前 : [iexplore.exe]、値 : [0] を追加してください。

6.4 Java をインストールする

- OpenJDK (1.8系) をインストールしてください。

JDK は Oracle やそれ以外にもさまざまな有償/無償のものが存在しますので、お使いの環境に応じて選択し、ダウンロードしてください。
- WindowsにJavaのパスを設定してください。
 - (変数名) JAVA_HOME
(変数値) C:\Program Files\Java\jdk1.8.x_xxx
 - 「jdk1.8.x_xxx」は、インストールしたバージョンによって異なります。
「C:\Program Files\Java」フォルダを確認して設定してください。
 - (変数名) Path
(変数値) %JAVA_HOME%\bin;(既存のものはそのまま)

6.5 Gradle の設定をする

- 利用しているインターネット環境で**プロキシを利用している場合に必要**な設定です。
- ホームディレクトリ [C:\Users\<ログインユーザ>\] に [.gradle] というディレクトリを作成します。
 - コマンドプロンプトで [mkdir .gradle] と実行してください。
- 作成した [.gradle] ディレクトリの中に、gradle.properties というファイルを作成し、中身を以下のよう
に設定してください。

```
systemProp.http.proxyHost=proxy.sample.com
systemProp.http.proxyPort=80
systemProp.https.proxyHost=proxy.sample.com
systemProp.https.proxyPort=80
```

 - **proxyHost** および **proxyPort** は、お使いの環境で使用するインターネットプロキシを記載してください。

6.6 テストコードを実行する

1. [5.3.3. テストコードを出力する](#) の手順で、Testabliish のテストコードをダウンロードしてください。
2. zip ファイルを展開してください。
3. 展開した中に、[testabliish-test.ini] というファイルを以下のように作成してください。
[testabliish-test.ini.sample] というファイルと同じ場所に置く形になります。

```
[testabliish]
baseUrl = http://sample-app.com
```

```
[ie-local]
browser.name = ie
config.fastSetValue = yes
env.webdriver.ie.driver = C:\selenium\IEDriverServer_x64_3.8.0\IEDriverServer.exe
```

- **baseUrl** には **Testabli**shでテストを実施するサイトを指定 してください。
- 詳しくは 別マニュアル **使い方マニュアル》III.操作の流れ》2.テストの自動実行》2.1.1 testabli**sh-test.ini の作成 を参照してください。

4. **テストの実行をInternet Explorer以外** で行うときは **ブラウザごとにあるWebDriverをインストール** して、[testabli

Chrome での[testabli

```
[testabli]
baseUrl= http://sample-app.com
[chrome-local]
browser.name = chrome
env.webdriver.chrome.driver = C:\selenium\chromedriver.exe
```

5. 3 のディレクトリにコマンドプロンプトで移動して、次のコマンドを実行してください。

```
run-test.bat
```

または、展開したテストコードのフォルダを開き、**run-test.bat** をダブルクリックすることでも実行 できます。

以上により、テストが実行されます。

[目次](#) に戻る

Base version Testabli

\$Revision: 840 \$ \$Date:: 2023-05-02#\$